

令和7年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和7年度 事業計画書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

〈趣 旨〉

当財団は札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザの市内6施設を管理運営しております。

令和7年度は、当財団の運営方針を定めた中期経営計画の3年目を迎え、重点取組項目である「芸術文化との出会いを全ての人へ提供」、「次世代を担う人々の育成・支援」、「様々な「連携」を図り、当財団ならではの特色ある芸術文化事業を展開」のいずれについても積極的に取り組み、多様な施設を運営する財団の強みと多彩な事業を展開する各施設の特色を生かしながら、これまで以上に札幌市の文化芸術の振興を図ります。

主な事業として、芸術の森では、「サッポロ・シティ・ジャズ」や「札幌ジュニアジャズスクール」、「バレエセミナー」などの音楽・舞台芸術事業を引き続き実施します。また、芸術の森美術館では、「札幌美術展」、「藤城清治展」を開催するほか、令和8年の芸術の森開園40周年事業の一環として、財団各施設との連携事業を継続実施し、財団ならではの特色ある事業を提供します。

彫刻美術館では、本郷新の伝記マンガを発刊するとともに、その名場面のほか、関連作品や資料を紹介する展覧会を開催し、特に子どもたちへの一層の周知を図ります。

コンサートホールでは、新たな取り組みとして、道内の公共ホール3館と連携し、世界的なピアニスト・反田恭平が率いる「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」の巡回公演を実施し、北海道内の音楽振興を図ります。また、未就学児や障がいのある子どもを対象とした社会包摂事業を継続実施し、更なる充実を図ります。

教育文化会館では、能楽などの伝統芸能をはじめ、多彩な舞台芸術事業や市民参加型ワークショップを開催します。また、市内実演家団体との連携を継続し、子ども向け事業やアウトリーチ等の取り組みを充実させます。新たに、各事業における社会包摂的機能強化を目的とした調査・検討、職員研修等にも取り組みます。

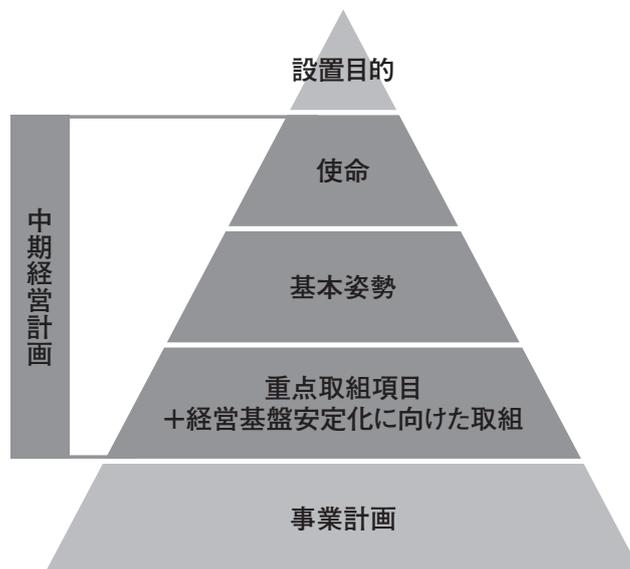
市民ギャラリーでは、気軽に参加できる主催事業を継続して実施し、様々な方に来館していただける機会をより充実させるとともに、例年好評な子ども向けワークショップ等も継続開催します。

指定管理第3期の初年度を迎える市民交流プラザでは、地元バレエ団体や教育機関、実演芸術家との協力によるhitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」(全幕)を再演するほか、SCARTSで実施する大学等との連携事業、相談サービス・助成金交付事業などを通じて、若手アーティスト等への支援や様々な分野との連携に積極的に取り組みます。

今後とも、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに、財団の総合力を最大限に発揮し、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

〈中期経営計画〉

令和5年度からの5年間にわたる当財団の経営方針として、中期経営計画を策定しました。社会情勢や文化芸術のあり方が大きく変化し、当財団として期待されることや果たすべき役割もまた変化している中で、職員が共通の目標を持ち、施設が連携することで、より札幌市の文化芸術振興を図り、かつ、効率的な経営の実現を目指しております。



—— 使命 ——

私たちは
札幌の芸術文化の振興を担う団体としてこれまで築いてきた
総合力とネットワークを活かし
誰もが芸術文化に触れる機会を生み出し
感動の輪を広げていくことで
人と人が心豊かにつながる未来を創造します

当財団は、札幌の文化拠点である6つの施設で、長年にわたり、企画・運営を担ってきました。これまでの運営を通じ、多彩なジャンルの芸術文化を提供できる専門性、施設間で効果的に連携できる組織力、関連団体との幅広いネットワーク等を築き上げてきました。

これらを最大限に活用し、子どもから大人、障がいのある方や外国人の方、アーティストなど、あらゆる人が芸術文化に触れ、また創作、表現できる機会を充実させることで、心はずむような体験との出会いを創出します。

このような心はずむ体験との出会いが感動となり、人々の豊かな情操や創造性あふれる人間性を育みます。そして、より多くの人々が感動に出会い、共有し、感動の輪が広がっていくことで、芸術文化をきっかけとして、人と人との交流が生まれ、多様性を認め合う活気あふれる社会の礎となります。この感動との出会いを札幌から全道・全国、また世界へと広げていくとともに、未来に向けても永続的なものとしてできるよう次世代を担う子どもたちやアーティストをはじめとして多方面から人々の育成・支援に取り組みます。

1 多彩な芸術文化の提供と他分野連携で都市ブランド向上に貢献

長年にわたり多彩な事業を展開し培ってきた経験や専門的な人材を有する組織力、幅広いネットワークを活かすとともに、それぞれの特性を最大限発揮してきた管理施設を相互に連携させることで、子どもから大人、障がいのある方や外国人などあらゆる人々へ、魅力的な芸術文化に触れる機会と新たな感動との出会いを提供します。加えて、芸術文化がもつ創造性を活用することで、教育や福祉、観光等との連携を強化し、都市ブランドの向上に寄与します。

2 誰もが快適に利用できる施設を運営し、人々と芸術文化をつなぐ

文化施設の運営団体として、利用者満足度やサービスの維持向上のために様々な取り組みを充実させることで、誰もが安心して快適かつ平等に芸術文化活動ができる場を提供します。また、財団が管理運営を行う多様な施設を効果的に活用し、人々と芸術文化をつなぐ拠点としての役割を最大限発揮できるよう取り組みます。

3 市民の豊かな感性の涵養によるまちづくりと人材育成

芸術文化の提供を通じ、未来を担う子どもたちをはじめ、市民一人ひとりの豊かな感性を育み、人々の交流を促進していくことで、創造的で活力あふれるまちづくりに貢献します。また、芸術文化活動を行うアーティストや団体、鑑賞者などを育成、支援するとともに、活動を支えるボランティアが活躍できる機会を創出し、札幌の芸術文化の継承、発展に寄与します。

—— 重点取組項目 ——

1 芸術文化との出会いを全ての人へ提供

(1) 社会包摂を意識した運営

これまで、ユニバーサルデザインへの取組や施設の無料開放、参加しやすい料金の設定、多言語対応等を実施し、そのノウハウを蓄積してきました。今後はさらに包摂性を念頭に置いて事業企画や施設運営に取り組み、障がいの有無、経済状況、国籍や年齢などに関わらず、全ての人が身近なものとして芸術文化の魅力に触れ、楽しむことができる機会を提供します。

(2) オンライン技術の効果的な活用

情報通信技術の急速な発展と普及に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な状況でオンライン技術の効果的な活用が求められています。引き続き、事業企画において時代の変化に対応した多様な芸術鑑賞スタイル等を模索し、また施設運営においてインターネットや通信端末等を活用した利便性の高いサービスを提供します。

2 次世代を担う人々の育成・支援

(1) 子どもたちの芸術文化活動の充実

これまで、子どもの頃から芸術文化に親しむことができる事業、また本物の芸術文化を体験することができる事業を積極的に実施してきました。今後もこれらの事業を充実させ、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力、さらに多様性を認め合う心を育みます。

(2) 若手アーティスト等の活動支援

芸術文化の魅力が次世代へ継承していくためには、若手アーティスト等の活躍が必要不可欠です。長期的な視点を持ち、若手アーティスト等へ発表の場や活動の機会を提供するなど、段階に応じたチャレンジやステップアップへの支援の充実を図ります。

3 様々な「連携」を図り、当財団ならではの特色ある芸術文化事業を展開

(1) 施設間連携のさらなる強化

これまで、多様な施設を管理運営する当財団のメリットを踏まえ、各施設の特色を活かした連携事業を実施してきました。今後はこの施設間連携を充実させ、さらに魅力的な事業を展開することで、新たな感動の提供を目指します。

(2) 他分野との連携の推進

特に教育分野においては、創造性が発露しやすい芸術文化への期待度は非常に高く、積極的に連携を図ってきました。また、芸術文化がもつ創造性の活用は、教育にとどまらず、まちづくり、経済、福祉、観光等の分野においても期待されています。当財団が有する高い専門性を活かし、これらの分野との連携をより一層推し進めることで、まちの活性化と魅力向上に寄与します。

—— 経営基盤安定化に向けた取組 ——

1 人材

当財団は、札幌における芸術文化施設の運営に関して最も経験豊富な団体であり、多岐にわたる高度な専門性や企画力、高い利用者満足度を維持するための様々なノウハウを保持し、関連団体や地域と良好な関係を築いてきました。

(1) 職員の採用

こうした強みを維持向上させるために必要である意欲の高い人材の確保について、中長期的な見通しに基づき進めます。

(2) 職員の育成

実践につながる研修や研鑽の機会の一層の充実や、個性や能力等に応じた管理職からの定期的なフィードバック等により、職員一人一人の能力や意識、意欲の向上を図り、組織の持続的な発展を目指します。

2 財務

当財団の使命を遂行するためには、自己財源の安定的な確保と、収入と支出のバランスが取れた適切な経営が必要なことから、以下の取組を行います。

(1) 快適な施設利用のための設備改修と、効率的な管理運営

(2) 事業における適正な料金の検討と、幅広い事業展開による収入の確保

(3) 様々な情報媒体の活用と、あらゆる世代に向けての情報発信による利用者数の増加

(4) 協賛金や助成金等による外部資金の獲得と、効果的な資産運用

令和7年度事業一覧表

【重点取組項目該当状況について】

令和7年度事業について、「中期経営計画 重点取組項目」との該当状況を掲載。各項目の内容は、下記のとおり。
 なお、中期経営計画の詳細は、P2に掲載。

社会包摂	社会包摂を意識した運営	}	芸術文化との出会いを全ての人へ提供
オンライン活用	オンライン技術の効果的な活用		
子どもたちの活動の充実	子どもたちの芸術文化活動の充実	}	次世代を担う人々の育成・支援
若手アーティスト等の活動支援	若手アーティスト等の活動支援		
施設間連携	施設間連携のさらなる強化	}	様々な「連携」を図り、当財団ならではの 特色ある芸術文化事業を展開
他分野連携	他分野との連携の推進		

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉

I 芸術の森事業部

【札幌芸術の森・本郷新記念札幌彫刻美術館 中期経営計画取組状況】

重点取組項目の主なものとして、「社会包摂を意識した運営」については、バリアフリーに向けた取り組みだけでなく、視覚や聴覚に障がいのある方、車椅子利用者、また、日本語を母語としない方々をターゲットとするプログラムを、野外美術館をめぐる人気のアクティビティ「謎解きイベント」にて新たに取り組む。彫刻美術館では、手話によるアート鑑賞会を開催するほか、連続講座等でオンライン配信を活用し、鑑賞・参加機会の拡大に努める。

「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、長期にわたる活動により得られる子どもたちの成長を事業の成果として可視化するため、ジュニアジャズスクールの事業評価手法を整備する。彫刻美術館では、特に子どもたちへの一層の周知を図るため、本郷新生誕120年を記念し、その生涯をまとめたマンガ出版と市内小学校図書館への配架を行う。

「施設間連携のさらなる強化」については、芸術の森開園40周年の一環として令和6年度に引き続き市内各所でアウトリーチ活動を行うとともに、コンサートホールでは演奏会を、また、彫刻美術館では芸術の森美術館のコレクションを紹介する展覧会を開催し、財団の総合力を生かした事業の展開を図る。

「他分野との連携の推進」については、地域の文化活動の中核施設として連合町内会と一年を通じ様々なプログラムを開催し、地域のまちづくりに引き続き貢献していく。また、工芸分野では農畜産生産者や市内の他の公園施設と連携し、SDGsゴール目標「自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識の醸成」に努めていく。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライ ン活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 音楽・舞台芸術事業								
(1)札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ								
①シアタージャズライブ						●		
②企業・団体とのタイアップによる事業			●					
(2)次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業								
①第26期札幌ジュニアジャズスクール					●			
②札幌ジュニアジャズスクール国際交流事業	国外	○			●			
③札幌芸術の森パレエセミナー2025						●		
(3)文化芸術を通じた市民活動の促進								
①パークジャズライブ							●	
(4)質の高い文化芸術の創造・提供事業								
①シアタージャズライブ(再掲)						●		
(5)各種団体との連携による文化芸術の振興								
①各種団体共催・付帯事業								
2 美術館事業								
(1)展覧会事業								
①コスチュームジュエリー		○						
②小松美羽 宿神		○						
③札幌美術展 下沢敏也								
④リフレクションズーいつかの光		○		●				
⑤藤城清治展		○						
⑥所蔵品展								
(2)野外美術館								
①ボランティアによる作品解説								
②鑑賞アプリ、グッズの運用								
(3)教育普及事業								
①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ					●			
②子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」					●			

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(4) 利用促進事業								
ミュージアムショップの運営及びオリジナルグッズの製作・販売								
(5) 人材育成								
① ボランティア及び美術館協力員								
② 博物館実習生の受け入れ								
(6) 保管・整理								
① 作品の保存及び管理								
② 資料整理								
(7) 札幌芸術の森40周年記念事業								
① Flowering Garden 2年目								
3 工芸事業								
(1) 展覧会事業								
① 工芸作品展示事業「ベストポケット」								
② コレクション展								
③ 森から生まれたクラフト展								
④ 第31回芸術の森地区文化祭								
(2) 工芸・版画講習会事業								
① 工芸・版画講習会								
4 芸術の森の環境を生かした事業								
(1) 地域連携								
① 芸術の森地区連合会ほか地域の施設との連携								
② 教育機関の職場体験やインターンの受け入れ								
(2) 自然環境を生かした誘客事業と施設の利用促進								
① スプリングフェスタ								
② 野外美術館謎解きイベント								
③ 芸森アートマーケット								
④ 芸術バスデー								
⑤ 芸森かんじきウォーク								
(3) 広報業務								
① ホームページ、SNSの活用								
② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布								
③ マスコミへの情報提供、誘致活動								
5 彫刻美術館事業								
(1) 展覧会事業								
① コレクション展 彫刻の設計図リターンズ								
② 没後50年 山内壮夫展								
③ 彫刻三昧(仮称)								
④ 本郷新生誕120年記念 マンガで読み解く本郷新の生涯(仮称)								
⑤ コレクション展2024-2025								
⑥ コレクション展2025-2026								
⑦ さっぽろ雪像彫刻展2026								
⑧ さっぽろ雪まつり出品 「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」								
(2) 本郷新記念札幌彫刻賞								
① 第4回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品展示								
(3) 普及事業								
① 子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」								
② 彫美連続講座								
③ 造形教室								
④ 館長講話								
⑤ 札幌おしゃべり美術部								
⑥ 酒井忠康彫刻文庫公開								
⑦ 子どもへの本郷新周知事業								

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(4) 協力事業								
① 学校教育への協力					●			
② 博物館実習の受け入れ					●			
③ ボランティアの受け入れ								
(5) 連携事業								
① 地域・企業との連携								
(6) 広報活動								
① ホームページ、SNSの活用				●				
② 地域住民への情報提供								
(7) 利用促進								
① サンクスデー			●		●			
② 図書・情報コーナー								
③ グッズ販売								

II コンサートホール事業部

【札幌コンサートホール 中期経営計画取組状況】

中期経営計画達成に向けた取り組みにより、重点取組全項目において一定以上の成果が見られている。
「社会包摂を意識した運営」については、未就学児や障がいのある子どもに向けた事業を実施するなど、より多くの人々が参加する機会を提供し、芸術文化を通じて多様な価値観を育むことができた。特に「若手アーティスト等の活動支援」については、開館当初から継続しているリスト音楽院セミナーや専属オルガニスト制度により、次世代への芸術文化の継承に貢献できた。これらについては維持・継続することで更なる充実を図る。
「他分野との連携の推進」については、主催事業におけるホールスポンサー企業とのコラボレーション企画を実施することで、観光・芸術の異なる分野間における発展的な効果を得ることができた。令和7年度は芸術の森美術館と連携し、「施設間連携のさらなる強化」として特色のあるコンサート事業を展開するほか、北海道内の公共ホールとも連携し、当館が招へいするオーケストラの巡回公演を道内4都市で実施することで北海道全体の音楽振興を推進していく。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 音楽鑑賞事業								
(1) オーケストラシリーズ								
① 反田 恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ		○						●
② チョン・ミョンフン指揮 ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団		○						
(2) ソリストシリーズ								
① 鈴木 雅明 チェンバロリサイタル		○						
② フランチェスカ・デゴ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル		○						
③ (第28回リスト音楽院セミナー) 講師による特別コンサート								●
(3) 室内楽シリーズ								
① ザ・ベース・ギヤング		○						
② (ハンガリーの俊英たちVI) サバディ・イルディコ フルトリサイタル						●		●
2 音楽普及事業								
(1) ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると								
① きがるにオーケストラ					●			
② スプリング・プラス～中学生スペシャル！			●		●			
③ ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～			●		●			
④ 3歳からのコンサート			●		●	●		
(2) オルガン事業								
① ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～(再掲)			●		●			
② Kitaraのバースデイ			●		●			
③ 第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト ファニー・クソー フェアウェルオルガンリサイタル								
④ 第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル			●					
⑤ クリスマスオルガンコンサート					●	●		●
⑥ オルガンウィンターコンサート			●					●
⑦ オルガンCD制作				●				

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(3) 札幌オーケストラシリーズ								
①きがるにオーケストラ(再掲)					●			
②Kitaraのクリスマス				●				
③Kitaraのニューイヤー～オペラアリア名曲選～								
(4) Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ								
①<Kitara×札幌芸術の森連携事業> 金子 三勇士 ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～		○	●				●	
②朴 葵姫 ギターリサイタル		○	●					
③浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業 第12回 浜松国際ピアノコンクール優勝/ 札幌市長賞受賞者 鈴木 愛美 ピアノリサイタル			●			●		●
(5) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業								
①<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業> 若い芽の音楽会						●		●
②令和7年度KitaraアーティストサポートプログラムI、II						●		
③<Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト> 札幌の音彩(ねいろ)Ⅲ～春をつける北のアーティストたち～						●		
(6) 社会包摂事業								
①0歳からのコンサート 絵本deクラシック			●		●			
②子どものためのKitara参加型音楽会			●	●	●	●		
(7) 他事業部との連携事業								
①<札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業> スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～			●				●	
②<Kitara×札幌芸術の森連携事業> 金子 三勇士 ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～(再掲)			●				●	
3 教育・人材育成事業								
(1) エデュケーションプログラム								
①Kitaraあ・ら・かると								
1)きがるにオーケストラ(再掲)					●			
2)スプリング・プラス～中学生スペシャル!(再掲)			●		●			
3)ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～(再掲)			●		●			
4)3歳からのコンサート(再掲)			●		●	●		
②0歳からのコンサート 絵本deクラシック(再掲)			●		●			
③Kitaraファーストコンサート					●			●
④<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業> 若い芽の音楽会(再掲)						●		●
(2) アウトリーチ事業								
①<札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業> スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～(再掲)			●				●	
②専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)					●			●
(3) セミナー事業								
①<札幌大谷大学・Kitara連携事業> パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン						●		●
②第28回リスト音楽院セミナー								
1)講師による特別コンサート(再掲)								●
2)<札幌大谷大学・Kitara連携事業> 特別レクチャー&公開レッスン						●		●
3)受講生コンサート						●		
(4) 地元音楽大学等との連携事業								
①<札幌大谷大学・Kitara連携事業> パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン(再掲)						●		●
②<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業> 若い芽の音楽会(再掲)						●		●
③<第28回リスト音楽院セミナー> <札幌大谷大学・Kitara連携事業>特別レクチャー&公開レッスン(再掲)						●		●
(5) PMF共催事業								
						●		

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
4 全国ホールとのネットワーク事業								
(1)ホール・他都市連携事業								
①浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業 第12回 浜松国際ピアノコンクール優勝/ 札幌市長賞受賞者 鈴木 愛美ピアノリサイタル(再掲)			●			●	●	
(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を他都市に紹介								
①専属オルガニストによる公演								
1)那須野が原ハーモニーホール オルガンコンサート	道外						●	
2)ザ・シンフォニーホール・オールパツハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート2025	道外						●	
②反田 恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ 北海道ツアー2025		○					●	
1)北見公演								
2)帯広公演								
3)函館公演								
(3)国内ホールとの情報交換								
①コンサートホール企画連絡会議(道外)	道外							
5 PR活動の充実								
(1)広報活動								
①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行								
②ホームページ、Kitaraアプリ、XやInstagramなどのソーシャル メディア、テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用した情報提供				●				
③音楽専門誌、タウン情報誌、新聞等への広告掲載								
④SNS広告を活用したチケット販売促進、広報の強化				●				
⑤公共交通機関等を利用した広告掲出								
⑥Kitaraギャラリーを活用した展示事業						●		
⑦近隣ホテル、観光機関と連携したPR展開							●	
⑧各種団体会員へのチケット販売 (札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか)							●	
⑨全国音楽ホール、札幌市内公共施設及び小中学校、地下鉄 主要駅、ホテル、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraN- EWS等の送付							●	
(2)会員制度の運営								
6 チケット等販売事業								
(1)チケット販売								
				●				
(2)グッズ販売								
				●		●		
7 スポンサー制度								
(1)ホールスポンサー								
							●	
(2)事業スポンサー								
							●	
8 Kitaraボランティアとの連携								
(1)ダイレクトメール発送活動								
			●					
(2)ホール見学案内								
			●					
(3)Kitaraギャラリー運営補助								
			●					
(4)主催事業補助(リスト音楽院セミナー ほか)								
			●					
(5)専属オルガニストサポート (日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)								
			●					
(6)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行								
			●					
9 その他								
①演奏会付き防災訓練								
②札幌コンサートホール施設見学会								
③ゆきあかり in 中島公園等、地域連携								
							●	

Ⅲ 教育文化会館事業部

【札幌市教育文化会館 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」、「オンライン技術の効果的な活用」については、子どもを対象としたワークショップで参加費を低廉にすること、オンラインでの申込を実施することにより一定の成果を上げることができた。今後は、施設及び事業運営の調査、検討を行い、課題解決のための職員研修の実施、関連団体からの協力やオンライン技術の導入等による基盤整備を行うとともに、持続的な取り組みのための方策を検討する。

「次世代を担う人々の育成・支援」については、従前からの能楽、ダンスのワークショップ、オペラのアウトリーチの取り組みを行い、一定の成果を上げることができた。今後は、子ども向けの喜劇や演劇のワークショップのほか、若手アーティストを支援する演劇フェスティバル等を再開するとともに、適正な実施回数、定員、事業（ジャンル）を勘案し参加者数増に繋げていく。市民芸術祭においても市民の文化活動の支援や若手アーティスト育成の機会を引き続き創出する。

「施設間、他分野との連携」については、能楽展示、能楽とクラシック音楽とのコラボレーションなどの連携事業を積極的に取り組み、従前には無い成果を上げることができた。また、休館期間中、他施設でのワークショップ開催など財団のスケールメリットを活用した施設利用を行った。これらの実績を基に引き続き事業部間連携の継続を試みるとともに、教文ならではの地元実演家団体、実施団体、学校との協力関係による取り組みを継続していく。

【札幌市民ギャラリー 中期経営計画取組状況】

重点取組項目のうち「社会包摂を意識した運営」については、主催事業を入場無料でを行い、経済的な事情がある方でも気軽に芸術に触れることができるような取り組みを推進している。入場者数が増加するなど一定の効果を得られていることから、今後も継続して取り組む。

「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、夏休みや冬休みに市内の作家協会等との共催でワークショップを開催しており、子どもたちに向けて低廉で気軽に楽しめる体験の場を提供している。年齢制限を設けていないコンサートでは、通常は入場が制限されてしまう未就学児の参加もみられ好評を得ていることから、今後も継続して開催する。

「若手アーティスト等の活動支援」「他施設間連携」については、コンサートホールや市民芸術祭と連携しているが、成果の可視化にむけて、アンケート項目を改めるなどにより、更なる充実を図る。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライ 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 舞台芸術に関する事業								
(1)良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供								
①演劇公演「Workers ワーカーズ！」		○	●		●			
②教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」(仮称)								
③教文伝統芸能シリーズ「夜能」		○						
④人形浄瑠璃文楽								
⑤松竹大歌舞伎								
(2)札幌の舞台芸術の創造・発表								
①教文演劇フェスティバル2025						●		
②教文オペラプログラム「おみきとっくり」ほか		○			●			
③教文オペラ ちいさなひとのためのオペラ「銀河鉄道の夜」		○			●			
④教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ)			●		●	●		
(3)文化施設、文化団体との協働事業								
①演劇公演 東京サンシャインボーイズ復活公演「蒙古が襲来」		○						
②能楽鑑賞のひとつき								
③人形劇フェスティバル2026年 さっぼろ冬の祭典						●		
④第66回子ども舞踊祭 Junior Festival					●			
2 文化芸術活動を行う人材の育成								
(1)文化芸術活動の支援事業								
<子ども向けプログラム>								
①小・中学生のための能楽入門			●		●			
②子ども演劇ワークショップ			●		●			●
③子ども体験新喜劇ワークショップ			●		●			
<一般向けプログラム>								
①市民参加型ワークショップ 大連吟 札幌		○	●					
(2)学校教育における芸術文化活動の支援								
①中文連演劇ワークショップ2025					●			
②第71回高文連石狩支部演奏会					●			
③第40回札幌市中文連演劇発表会					●			
④第75回高文連石狩支部高校演劇発表大会					●			
⑤第77回札幌市中学校音楽会					●			
⑥第75回高文連全道高等学校演劇発表大会					●			
⑦第20回北海道中学生演劇発表大会					●			
⑧第39回札幌市小学校児童音楽祭					●			

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライ 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(3)文化芸術に関する情報の収集及び提供								
①公立文化施設等とのネットワーク								
②実演家など専門家との交流やメディアの活用				●				
③アンケートの実施								
④包摂的機能強化		○	●					
3 札幌市民芸術祭								
①札幌市民劇場			●					
②マンドリン音楽祭			●					
③ギター音楽祭			●					
④市民合唱祭			●					
⑤さっぽろ市民文芸			●					
⑥新人音楽会			●			●		
⑦邦楽演奏会			●					
⑧市民美術・書道展			●				●	
⑨札幌市民吹奏楽祭			●					
⑩市民写真展			●					
4 広報活動								
①ホームページ活用による広報				●				
②情報誌の編集、発行			●	●				●
③メディアを通じた情報提供及び広告等				●				
④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による 広報及び販売促進							●	
⑤案内、プレイガイド、物販								
⑥教文☆ナビ								
5 市民ギャラリー事業								
①〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉 スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～			●			●	●	●
②市民ギャラリー美術映画会			●					
③市民ギャラリー手づくり作品市場			●			●		●
④カルチャーナイト2025			●	●				
⑤市民ギャラリーワークショップ					●			●
⑥市民ギャラリー子ども映画会			●		●			
⑦市民ギャラリーウインターコンサート			●			●	●	●
⑧書っ！パフォーマンス		○	●		●	●		●
⑨高文連石狩支部書道展・書道体験			●		●			●
⑩札幌市中学校美術・書道展			●		●			●
⑪中央区東地区連合町内会コンサート			●					●

IV 市民交流プラザ事業部

【札幌市民交流プラザ 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」については、親子や子どもを対象としたプログラムの充実や社会包摂性を高めるための取り組みを加速していく。
 「オンライン技術の効果的な活用」については、質の高い舞台芸術などの各種事業コンテンツの配信、広報、相談対応等について今後も継続していく。
 「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、市内の中学2年生を対象とした「My First Ballet」やメディアアーツシリーズのイベントへの子どもの参加・育成機会の提供などに取り組んでいく。
 「若手アーティスト等の活動支援」については、大学連携コンサートや主催事業におけるバレエやオペラの若手アーティストの出演機会の創出のみならず、舞台技術セミナーの実施により文化芸術活動を支える舞台技術者の育成に取り組んでいく。
 「施設間連携のさらなる強化」については、芸術の森事業部との連携によるバレエ事業の内容拡充による成果を基に、将来に向けた長期的ビジョンを念頭に事業を展開することで更なる充実を図る。
 「他分野との連携の推進」については、これまでの連携先に加え、新たな連携先・分野とも積極的に連携を行い、より効果的に市民へ芸術文化の普及や価値提供に寄与することを目的とした事業展開を推進していく。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライ 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 札幌文化芸術劇場に関する事業								
(1) 創造事業								
① hitaruバレエプロジェクト「くすみ割り人形」(全幕)再演			●	●	●	●		●
② hitaruオペラプロジェクト(準備)								
③ hitaruバレエプロジェクト(準備)								
④ Creative Art Mix 2025 IMMERSIVE RHYTHM		○	●	●		●		
(2) 鑑賞事業								
① 大駱駝艦「クレイジーキャメル」			●	●		●		●
② 東京バレエ団 札幌公演(仮称)		○	●	●	●			●
③ 新国立劇場バレエ団「シンデレラ」			●	●	●			●
④ hitaruのひととき								
1) 小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート			●	●		●	●	
2) Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～			●	●				●
3) My First Ballet ～くすみ割り人形～		○	●	●	●	●		●
⑤ ゆうめい「養生」			●	●	●	●		●
⑥ 贅沢貧乏「わかろうとはおもっているけど」(共催)								
⑦ ミュージカル「レ・ミゼラブル」(共催)								
⑧ 第六回さっぽろ落語まつり(共催)								
⑨ 大型ミュージカル公演(仮称)(共催)								
⑩ 2025 HTB ジルベスターコンサート(共催)								
(3) 普及・育成事業								
① 小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート関連事業 歌唱ワークショップ(仮称)						●		
② Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～ 関連事業 MINYOワークショップ								
③ hitaruダンス・ワークショップ for Lifetime			●		●	●		
④ hitaruバレエプロジェクト関連事業 公開講座 パリ・オペラ座バレエ団 ジョゼ・マルティネス氏を迎えて(仮称)						●	●	
⑤ 札幌大谷大学アートプログラム(共催)								●
⑥ hitaruバレエプロジェクト関連事業 バレエ研修プログラム/ 公開講座		○			●	●	●	
⑦ 大駱駝艦「クレイジーキャメル」関連事業 舞踏ワークショップ						●		
⑧ My First Ballet ～ドン・キホーテ(抜粋)&ボレロ～			●	●	●			●
⑨ hitaruオペラプロジェクト関連事業 オペラ研修プログラム(仮称)		○	●			●		
⑩ ゆうめい「養生」関連事業 hitaru劇評入門			●					
(4) 交流事業								
① Body&Soul Kids★Party ～がおがお！音獣ますかれーどの巻～(仮称)			●	●	●	●		
② プラザフェスティバル			●	●	●	●	●	●
(5) 舞台技術向上への取組								
① 第6回hitaru舞台技術セミナー						●		
② 技術協力支援						●		
③ 学生向けhitaru施設見学会						●		

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業								
(1)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業								
①SCARTSメディアアーツシリーズ								
1)SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト					●		●	
②SCARTS連携事業								
1)大学連携コンサート								
ア 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校						●	●	
イ 大学連携コンサート 札幌大谷大学						●	●	
2)SAPPORO.ぶんだんきょうフェスティバル			●		●			
3)No Maps2025							●	
4)さっぽろアートステージ2025「キッズアートフェス」					●			
5)能藤玲子創作舞踊公演		○					●	
6)彫美連続講座(仮)							●	
③SCARTSパブリックリレーションズ								
1)西2丁目地下歩道 映像上映プロジェクト								
2)プラザフェスティバル(再掲)			●	●	●	●	●	
(2)文化芸術活動支援事業								
①SCARTSサポート事業								
1)SCARTS相談サービス				●		●	●	
2)SCARTSラーニングプログラム					●	●	●	
3)企画公募事業								
ア Sumitto Art 一望月澄人回顧展一						●		
イ 石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」Vol.VIII BOLERO～書×ヴァイオリン×ピアノ～						●		
ウ 宮本一行個展 「雪面の歩行 Walk on the Snow Field」						●		
エ 音の建築彫刻―交差するBachとアンビエント―						●		
4)札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業				●		●	●	
(3)文化芸術に関する調査研究事業								
①文化芸術振興のための調査研究の実施								
②主催事業の記録及び公開								
3 広報・利用促進に関する事業								
(1)広報								
①情報誌作成と事業広報との連携強化								
②ホームページ、SNSなどを活用した広報			●	●		●	●	
③市民交流プラザのブランディング							●	
④その他の広報制作物						●	●	
(2)利用促進								
①施設利用に関する営業								
②会員制度の運営							●	
③協賛制度の運営							●	

芸術の森事業部 令和7年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽・舞台芸術事業		<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)企業・団体とのタイアップによる事業 ●(通年)第26期札幌ジュニアジャズスクール ●(通年)各種団体共催・付帯事業 		<ul style="list-style-type: none"> ●8/8～14(調整中) 札幌ジュニアジャズスクール国際交流事業 ●7月下旬～8月上旬(調整中) 札幌芸術の森ハレエセミナー2025 ●7/19～21 パークジャズライブ 								
美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> 4/19、6/22 ●コスチュームジュエリー 4/19、6/22 ●所蔵品展 	<ul style="list-style-type: none"> 4/29、11/3 ●野外美術館 ボランティアによる作品解説 6月・2月 ●Flowering Garden 2年目(6月)ライブペインティング、7月 小学校アウトリーチ、9月 野外美術館コンサート、10～2月 SCARTS(連携等) 	<ul style="list-style-type: none"> 7/5、8/31 ●小松美羽 宿神 	<ul style="list-style-type: none"> 9/13、11/3 ●札幌美術館 下沢敏也 9/13、11/3 ●所蔵品展 9/10、9/18 ●博物館実習生の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 11/15、12/21 ●リアルグジョンズーいつかの光 	<ul style="list-style-type: none"> 1/17、4/12 ●藤城清治展 						
工芸事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)野外美術館 鑑賞アプリ、グッズの運用 ●(通年)佐藤忠良記念子どもアートワークショップ 			<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ハロー！ミュージアム 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ミュージアムショップの運営及びオンライングッズの製作・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ボランティア及び美術館協力の人材育成 ●(通年)ボランティアの作品の保存及び管理 						<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)資料整理
芸術の森の環境を生かした事業					<ul style="list-style-type: none"> ●4/29 スプリングフェスタ ●4/29～11/3 野外美術館読書イベント ●4月～11月 芸術アートマーケット 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)工芸版画講習会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)コロケーション展 	<ul style="list-style-type: none"> ●森から生まれたクラフト展 10月上旬(調整中) ●第31回芸術の森地区文化祭 		<ul style="list-style-type: none"> ●1/10～3/15 芸術かんじきウォーク 		
彫刻美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●～5/25 本郷新 ●～5/25 コレクション展2024-2025 	<ul style="list-style-type: none"> ●彫刻の設計図リターンズ ●5/13 彫美連続講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/14～9/28 没後50年 山内社夫展 ●5/31～R8/5/24 コレクション展2025-2026 ●6月～12月 ハロー！ミュージアム 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/6 彫美連続講座 ●8月 造形教室 ●6/22 サンクスデー 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/6 彫美連続講座 ●8月 造形教室 ●9月 博物館実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/19 サンクスデー(調整中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/11～2/11 彫刻三昧(仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ●2/21～5/24 マノガで脱が解く 本郷新の生涯(仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ●2/21 彫美連続講座 ●2/4～11 さっぽろ雪まつり出品 雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館 (大通公園) ●1/23～25 さっぽろ雪像彫刻展2026 ●1月 造形教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月下旬 子どもへの本郷新周知事業 		

コンサートホール事業部 令和7年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽鑑賞事業	オーケストラシリーズ					11 反田 恭平&ジャバ ンナシヨナルオーケ ストラ 10 志野ノミヨウの管 楽団 ルハニモニ管弦楽団				18 フォンチェエヌカ 19 新曲集ヴァイオリン リサイタル		
	ソリストシリーズ				10 鈴木 雅明 チェンバ ロリサイタル						18.19 (第28回) 藤野 善徳&ヤマトコンサート による特別コンサート	
	室内楽シリーズ							7 サバースギヤング				14 (レインボー)の俊英 たち(レ) サブテニス ルディコ フィルハーモ ニイタル
音楽普及事業	ホール開放事業 Kitoraあ・ら・かると		3.5 きがるにオーケ ストラ&ソング ラス〜中学生&スベ ルリアリアニエさん のオルガンコンサート 5.5 コンサート									
	オルガン事業		5.5 フラニエさんのオル ガニサ〜(再掲) めざして〜(再掲)	5 Kitoraのバーステイ ン	2.5 第25代札幌コン サート ガニスト・フエア カニサイタル		1.1 第26代札幌コン サート ガニスト・デビ イタル		2.1 クリスマスオルガ ンコンサート		7.オルガンウィンター コンサート	
	札幌オーケストラシリーズ		3.5 きがるにオーケスト ラ(再掲)							20 Kitoraのクリスマ ス		
	Kiteraアフタヌーン コンサートシリーズ									10 Kitoraのニユー ヤニ〜オペラアリア 名曲選〜		
	地元音楽家・音楽団体との 活動支援・連携事業					28 (Kitora&札幌芸術 の森連携事業)金子 三 勇士 ピアノリサイタル 〜芸術の森を歩いて〜						
社会包摂事業	他事業部との連携事業	19 (札幌市民ギヤ ラシリーズ)Kitora連携事 業コンサート										
	エデュケーションプログラム		3.5 きがるにオーケ ストラ(再掲) クワラズ〜中学生& シヤル!(再掲) / ア ニエさんのオルガ ンコンサート〜重 めざして〜(再掲) コンサート(再掲)	7.0 藤からのコンサ ート 緑あがらんク								
教育・人材育成事業	アウトリーチ事業	19 (札幌市民ギヤ ラシリーズ)Kitora連携事 業コンサート(再掲)										
	セミナー事業		2.2 バイブオルガン特 別講義									
	地元音楽大学等との連携事業		2.2 バイブオルガン特 別講義(再掲)									
	PMF共催事業											
全国ホールとの 連携事業	ホール・他都市連携事業											
	札幌コンサートホールが招 へいする音楽家を広く他都 市に紹介			28 那須野が原ハーモ ニーコンサート		2 ザシニアニエさん と 道内・真夏のオルガ ンコンサート2025						
国内ホールとの情報交換												

教育文化会館事業部 令和7年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
舞台芸術に関する事業	良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供					●8/20 演劇公演「Workers ワーカーズ！」 ●8/26-29 教文演劇フェスティバル2025「銀河鉄道の夜」		●10/29 教文伝統芸能シリーズ「能楽なら」(仮称) ●10/31 教文伝統芸能シリーズ「夜能」 ●11/18 人形浄瑠璃文楽 ●11/19 松竹大歌舞伎				
	札幌の舞台芸術の創造・発表		●6月～11月 教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ) ●6/28 教文オペラ ちいさなひとのためのオペラ「銀河鉄道の夜」							●1月 教文オペラプログラム「おみぎとくく」ほか		
文化芸術活動を行う人材の育成	文化施設、文化団体との協働事業	●4/3-6 東京サンシャインボーズ復活公演「蒙古が襲来」 ●4/29 能楽鑑賞のひととき								●2/22-23 人形劇フェスティバル2026年 さっぼろ冬の祭典 ●3/27,28 第66回 子ども舞踊祭 Junior Festival		
	文化芸術活動の支援	●(通年)市民参加型ワークショップ 大連吟 札幌		●7/1-11/3 子ども演劇ワークショップ	●8/15,16 小中学生のための能楽入門					●1月 子ども体験新喜劇ワークショップ		
札幌市民芸術祭	学校教育における芸術文化活動の支援	●5/17 中文連演劇ワークショップ2025 ●6/19,20 第71回高文連石狩支部演奏会			●8/1-4 第40回札幌市中文連演劇発表会 ●9/30-10/8 第75回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ●10/26 第77回札幌市中学校音楽会 ●11/12-17 第75回高文連全道高等学校演劇発表大会 ●11/22,23 第20回北海道中学生演劇発表大会						●2/7 第39回小学校児童音楽祭	
	文化芸術活動に関する情報の収集及び提供	●公立文化施設等とのネットワーク ●実演家など専門家との交流やメディアの活用 ●アンケートの実施 ●包括的機能強化										
市民ギャラリー事業	●(通年)札幌市民劇場		●5/25 マンドリン音楽祭	●7/13 ギター音楽祭オーティション ●8/10 邦楽演奏会オーティション	●8/16-18 新人音楽会オーティション ●9/7 ギター音楽祭 ●9/16-18 新人音楽会オーティション			●10/18,19 市民合唱祭 ●11/3 新人音楽会 ●11/9 邦楽演奏会 ●10月下旬「さっぼろ市民芸芸」第42号刊行 ●11/29 さっぼろ市民芸芸の集い	●12/3-7 市民美術・書道展	●1/24,25 札幌市民吹奏楽祭 ●2/3-11 市民写真展		
	●(年間)10回/市民ギャラリー美術映画会	●4/19 (札幌市民ギャラリー)&Kitaro連携事業)スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～ ●5/17 市民ギャラリー一まつく作品市場 ●7/25 カルチャーナイト-2025 ●7/25,26 陶芸体験教室 ●8/2 夏休み子ども映画会 ●8/3 七宝体験教室 ●8/8-10 高文連石狩支部書道展・書道体験 ●8/16,17 夏休みおえかきワークショップ										

市民交流プラザ事業部 令和7年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 通年 hitaruオペラプロジェクト(準備) ● 通年 hitaruバレエプロジェクト(準備) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/25-6/2 ミュージカル「レミゼラブル」 ● 6/6-8 第六回さっぽろ落語まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 7/27 Sound of Japan Fes ~A BRAND NEW MINYO~ ● 6/22 小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 9/14 大駒野監「クレイジーキャメル」 ● 9/26 東京バレエ団札幌公演(仮称) ● 10/4-5 新国立劇場バレエ団「シンデレラ」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12/6,7 ゆうめい「養生」 ● 12/13,14 鮫沢英子「わがわがとはおもっているけど」 ● 12月 大型ミュージカル公演(仮称) ● 12/31 2025 HTSシルベスターコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2/28,3/1 hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」(全幕)再演 ● 3/14,15 Creative Art Mix 2025 IMMERSIVE RHYTHM 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3/1 My First Ballet ~くるみ割り人形~ 					
鑑賞事業												
普及・育成事業												
交流事業												
舞台技術向上への取組	<ul style="list-style-type: none"> ● (通年)技術協力支援 ● 4/22 学生向けhitaru施設見学会 											
普及・発信にぎわい創出事業												
活動支援事業・調査研究事業												
広報												
利用促進												
札幌文化芸術交流センターに関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ● SCARTS×メディアアーティストシリーズ ● (調整中)SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト ● 通年SCARTS(パブリックリレーションズ) <ul style="list-style-type: none"> ・西21目地下発掘 映像上映プロジェクト ● 5/13 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 彫美連続講座(仮) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/8-10 SAPPORO.ぶんだんきまよ フェスティバル(展示) ・ 8/15-17 SAPPORO.ぶんだんきまよ フェスティバル(こどもアールブリュット) ・ 8/19-20 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 ● 8/6 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 彫美連続講座(仮) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 9/10-14 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ NoMaps2025 ● 10月 SCARTS/パブリックリレーションズ <ul style="list-style-type: none"> ・ プラザフェスティバル(再掲) ● 10/25 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学連携コンサート 札幌大谷大学 ● 11月 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ さっぽろアートステージ2025「キッズアートフェス」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12/20-21 企画公募事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音の建築彫刻 一交差するBachとアンビエント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1/22-24 SCARTS連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3/21 SCARTS連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 彫美連続講座(仮) 						
広報・利用促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ● (通年)SCARTSサポート事業 ● SCARTS相談サービス ● 札幌文化芸術交流センターSCARTS 文化芸術振興助成金交付事業 ● (調整中)SCARTSラーニングプログラム ● (通年)文化芸術に関する調査研究事業 ● 文化芸術振興のための調査研究の実施 ● 主催事業の記録及び公開 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/31-6/8 企画公募事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ Sumitto Art 一瞥月登人回顧展 ● 7/20 企画公募事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」Vol.VIII BOLERO~書×ヴァイオリン×ピアノ~ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 8/28-9/7 企画公募事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮本一行個展 「雪面の歩行Walk on the Snow Field」 									
広報・利用促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ● (通年)情報誌作成と事業広報との連携強化 ● (通年)ホームページ、SNSなどを活用した広報 ● (通年)市民交流プラザのブランディング ● (通年)その他の広報制作物 											
広報・利用促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ● (通年)施設利用に関する営業 ● (通年)会員制度の運営 ● (通年)協賛制度の運営 											

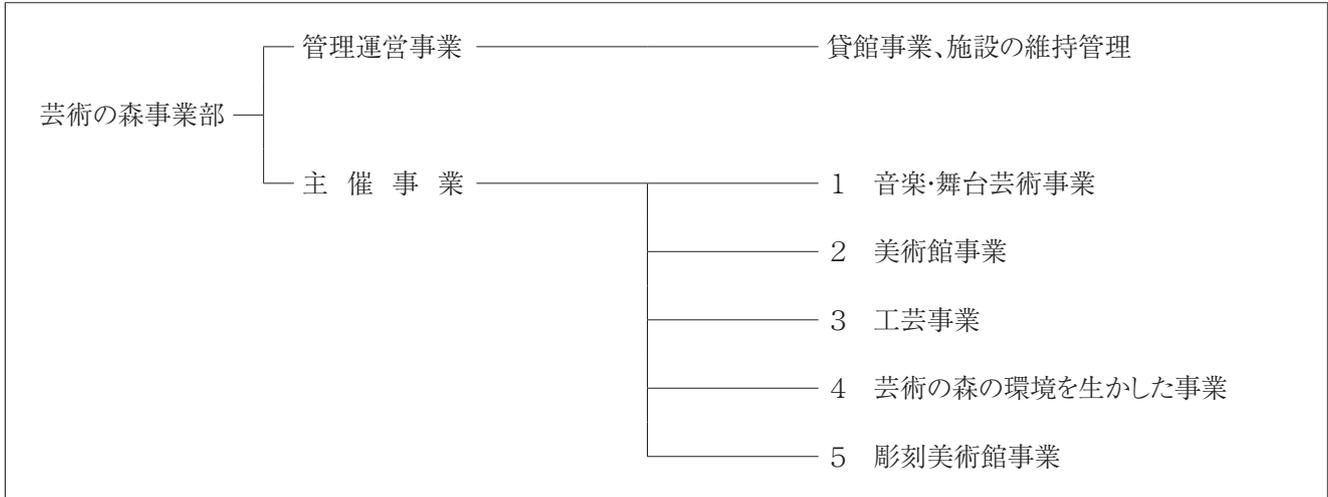
〈 詳 細 資 料 〉

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和5年度実績	令和6年度見込	令和7年度目標	
利用状況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	60,040人	53,000人	60,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	242,899人	141,000人	170,000人
		総入園者数	503,747人	380,000人	500,000人
	注)各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。				
	彫刻美術館	本館 観覧者数	9,275人	11,200人	9,000人
		記念館 観覧者数	3,237人	3,800人	5,000人
		総入館者数	12,548人	15,000人	14,000人

※彫刻美術館本館および記念館の煙突断熱材に石綿(アスベスト)含有建材が使用されている疑いが生じたため令和5年11月18日～20日は本館臨時休館、令和5年11月18日～22日は記念館臨時休館。

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ

①シアタージャズライブ

hitaruの舞台空間を活用し、舞台上に客席、ステージ、フードサービスを設置した特設会場でのジャズライブを開催する。優れた舞台機構をいかし洗練されたライブ空間を創出、食事と音楽を楽しむことのできる札幌独自のスタイルとして展開する。

期 日：令和7年11月20日(木)～11月24日(月・休)

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ 実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

②企業・団体とのタイアップによる事業

シティジャズのブランドをいかし、観光イベントや各団体などとのタイアップによる、ライブやイベントを開催する。出演者には地元ミュージシャンを起用し、タイアップ先の魅力を高めながら、地域づくりに貢献する。

期 日：通年

会 場：市内外各所

(2) 次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業

①第26期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の26年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ、地域イベントなどで演奏活動を行う。また、道内の各地域で活動する他のジャズスクールと連携して、合同合宿や演奏会を開催する。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

②札幌ジュニアジャズスクール国際交流事業

新規

子どもたちの国際感覚を育てる貴重な場として、また札幌のジャズ事業とジャズスクール活動の発信を行うため、2012年から継続して交流のあるノルウェー・オスロ市を訪問し、キッズジャズフェスティバルへの出演と参加各国のジャズスクール、地元市民との国際交流事業を実施する。

期 日：令和7年8月8日(金)～14日(木)(調整中)

会 場：ノルウェー・オスロ

③札幌芸術の森バレエセミナー2025

バレエダンサーの育成を目的として主任講師にパリ・オペラ座バレエ団教師のジル・イゾアールを招へいし、世界水準のセミナーを開催する。また、パリ・オペラ座バレエ団の芸術監督であるジョゼ・マルティネスによる公開講座を、市民交流プラザとの連携事業として実施する。

期 日：令和7年7月下旬～8月上旬(調整中)

会 場：アートホール、札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ

(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

市民自らが演奏者やイベント運営スタッフとして参加し、つくりあげる音楽イベント。市民の芸術文化活動を促進し魅力ある街づくりを目的として、全国から約200組の出演者を公募し市内約10会場で2日間にわたり無料ライブを開催する。

あわせて、パークジャズライブ参加者の中から事前の音源審査を通過した10組の実力派バンドによるコンテストを開催し、優勝者に翌年の海外ジャズフェスへの出演権を授与する。

期 日：令和7年7月19日(土)～7月21日(月・祝)

※ボランティア「ジャズセーバーズ」事業は通年

会 場：大通公園2丁目、札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ、北海道神宮頓宮 ほか

(4) 質の高い文化芸術の創造・提供事業

① シアタージャズライブ(再掲)

(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興

① 各種団体共催・付帯事業

芸術文化の普及振興や教育的効果の高い事業、地域づくりを目的とする事業、また芸術の森施設を会場とする芸術文化イベント等について、各団体・企業と連携し事業を実施する。

期 日：通年

会 場：市内外各所

2 美術館事業

(1) 展覧会事業

① コスチュームジュエリー

新規

宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂などの素材で制作されるコスチュームジュエリー。デザイナーたちが自由な発想で制作し、20世紀初頭のパリから、戦後はアメリカへと広く普及した。本展では、小瀧千佐子氏(コスチュームジュエリー研究家)所蔵の約450点を通してその歴史的展開と魅力を紹介する。

期 日：令和7年4月19日(土)～6月22日(日)63日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、株式会社北海道新聞社、札幌テレビ放送株式会社

② 小松美羽 宿神

新規

祈りや願いをテーマに狛犬や龍などの神獣を描く現代アーティスト小松美羽(1984-)の展覧会。代表作はもちろん、北海道の風土や地場から想を得た新作などにより作家の創造の源泉と軌跡を紹介する。

期 日：令和7年7月5日(土)～8月31日(日)58日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、株式会社北海道新聞社、札幌テレビ放送株式会社

③ 札幌美術展 下沢敏也

陶によるインスタレーション作品を20年以上にわたり展開する下沢敏也(1960-)の個展。従来の陶表現を越えた大きなスケールのインスタレーションには、生命の果てゆく姿と、その残り火の中から再生しようとする予感が充溢する。北海道の陶土を素材に独自の技法を探究する下沢の造形表現の今に迫る。

期 日：令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝)52日間

会 場：札幌芸術の森美術館

④ リフレクションズーいつかの光

新規

国内外で活躍する北海道ゆかりのアーティスト5組による現代美術展。風景や自然現象を鋭敏に知覚し、独自の手法であらわした作品群を通して、私たちをとりまく環境への新たな視点を提示する。

期 日：令和7年11月15日(土)～12月21日(日)32日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑤藤城清治展

新規

100歳を越える今も影絵作家として精力的に制作に臨む藤城清治(1924-)の展覧会。光と影の競演で世界に向けて謳いあげられるのは全世界に向けた「美しい地球・生きる喜び・未来」のメッセージ。自ら編み出した技術・技法でつくりあげた華麗な影絵の代表作とともに、札幌会場オリジナル作品も展示予定。

期 日：令和8年1月17日(土)～4月12日(日)74日間(うち、令和7年度63日間)

会 場：札幌芸術の森美術館

⑥所蔵品展

1,808点の札幌芸術の森美術館のコレクションから、テーマを定めて紹介する。

期 日：令和7年4月19日(土)～6月22日(日)63日間、令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝)52日間

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

(2)野外美術館

①ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには、希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和7年4月29日(火・祝)～11月3日(月・祝)

②鑑賞アプリ、グッズの運用

スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」での作品解説の配信(無料)、および問いかけに答えながら鑑賞を深める「彫刻鑑賞ノート」、作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむ「野外美術館シールマップ」(各220円)の販売などを通じ、作品鑑賞により親しむための取り組みを行う。

期 日：通年

(3)教育普及事業

①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、夏休み、冬休みを中心に美術教育に立脚したワークショップを開催する。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

②子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

札幌市内の小学校・義務教育学校及び特別支援学校小学部5年生を学校単位で芸術の森(札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ)、もしくは彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞機会を学校に提供する。活動の充実を図るため、令和7年度はコースを再編して実施。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、本郷新記念札幌彫刻美術館

(4)利用促進

ミュージアムショップの運営及びオリジナルグッズの製作・販売

展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地元作家の作品を紹介、販売する。また、札幌芸術の森美術館オリジナルのグッズを製作・販売する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館

(5) 人材育成

① ボランティア及び美術館協力員

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員(資料整理部・教育サービス部)を養成する。

期 日：通年

② 博物館実習生の受け入れ

美術館学芸員を志す大学生を対象に博物館実習(館園実習)を実施する。

期 日：令和7年9月10日(水)～12日(金)、16日(火)～18日(木)6日間

会 場：札幌芸術の森美術館

(6) 保管・整理

① 作品の保存及び管理

美術館における収蔵作品(野外美術館の作品も含む)の保存及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

② 資料整理

美術館における書籍等の二次資料の整理及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

(7) 札幌芸術の森40周年記念事業

Flowering Garden 2年目

令和8年度に開園40周年を記念して開催する美術展「Flowering Garden」に先立つ一連の事業。2年目は、小学校でのアウトリーチプログラムを継続するとともに、野外美術館を舞台にしたライブペインティングや、ピアノコンサートの他、コンサートホール、彫刻美術館、SCARTSとの財団内連携企画を実施する。

期 日：令和7年6月～令和8年2月

会 場：札幌芸術の森美術館

3 工芸事業

(1) 展覧会事業

① 工芸作品展示事業「ベストポケット」

市民が良質なクラフト作品に出会い、購入できる場の創造を目的に開催。北海道内で活動するクラフト作家を中心に作品を展示・販売。特定の作家や作品ジャンルなどに焦点を当てた企画展示なども行い、クラフト作品の魅力を発信する。また、並行してインターネット上での作品紹介と販売も行う(前・後期で展示入替を予定)。

期 日：通年

会 場：工芸館展示ホール

② コレクション展

1990年代から2010年代にかけて手作りクラフト作品を募集した全国規模の公募展の過去入賞作品や北欧のクラフト作品など工芸館のコレクションから近年公開の機会がなかった作品を選出し、紹介する。

期 日：通年(ベストポケットと同時期を予定)

会 場：工芸館展示ホール

③ 森から生まれたクラフト展

工房利用者や講習会受講者が制作した作品を展示して、来園者に芸術の森での活動を紹介し、工芸の魅力やものづくりの関心を高めることを目指す。加えて、地元団体との協力により、登り窯を活用して作品を制

新規

作、展示しながら薪窯の活用・存続についての検討会議を行う。

期 日：令和7年9月13日(土)～9月28日(日)

会 場：工芸館展示ホール

④第31回芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、工芸館を会場に絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和7年10月上旬(調整中)

会 場：工芸館展示ホール

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会(芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

(2)工芸・版画講習会事業

①工芸・版画講習会

各分野において工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、市民向けの講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし、参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを得る機会を提供する。

●一般講習会

陶芸・木工・テキスタイル・七宝・ガラス・金工および版画の、子どもから大人向け講習会を行う。

●グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶芸】たまつくり・カップ制作コース、板づくり・平皿制作コース、板づくり・パスタ皿制作コース、絵付け・小皿コース

【テキスタイル】絞り染め・バンダナコース、絞り染め・日本手ぬぐいコース、絞り染め・ハンドタオルコース

【七宝】多色盛り・リーフペンダントコース、多色盛り・キーホルダーコース

【ガラス】サンドブラスト・タンブラーコース、サンドブラスト・丸皿コース

●ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施(器に絵付けをしてみよう、たまつくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンダナ、オリジナルカンパジづくり)。

●ワークショップ、アウトリーチ

プラザフェスティバルをはじめとして市内文化施設やクラフト関連イベントと連携し、街中でのクラフトを中心とした入門ワークショップ、アウトリーチを開催することで、工芸の知識や技法に興味を呼び起こし、クラフト工房での制作体験への契機とする。

期 日：通年

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTSスタジオ等市内文化施設

4 芸術の森の環境を生かした事業

(1)地域連携

①芸術の森地区連合会ほか地域の施設との連携

芸術の森地区文化祭をはじめとする芸術の森地区連合会が主催する地域イベント等を地域の活動拠点として、一年を通じ連携開催する。

期 日：通年

行事：真駒内川取水プロジェクト 2年目	令和7年4月
北海道を歩こう	令和7年5月
オリエンテーリングin芸術の森	令和7年10月
芸術の森地区スクールミュージックフェスティバル	令和7年10月
芸術の森地区文化祭	令和7年10月
雪あかりの祭典	令和8年1月
広報等誘客促進連携	通年

②教育機関の職場体験やインターンの受け入れ

近隣の教育機関からの職場体験やインターンシップの受け入れを行う。

期 日：通年

(2)自然環境を生かした誘客事業と施設の利用促進

芸術の森への誘客促進による賑わいの創出、貸出施設の利用促進、また、利用者相互の交流を目的として、四季折々にイベントを開催する。

①スプリングフェスタ(令和7年4月29日／園内各所)

野外美術館オープンに合わせて開催する誘客イベント。

②野外美術館謎解きイベント(令和7年4月29日～11月3日／野外美術館)

野外彫刻作品をモチーフとする謎解きゲーム。外国人や障がい者等も楽しめる新規プログラムに取り組む。

③芸森アートマーケット(4月～11月／美術館前広場、アートホール ほか)

市民アーティストによる手づくりアート作品のマーケット。

④芸森バースデー(令和7年7月27日／園内各所)

開園記念日にあわせて夏を感じられるイベントを実施。

⑤芸森かんじきウォーク(令和8年1月10日～3月15日／野外美術館)

雪のなかの彫刻作品を鑑賞できるかんじき散策。

(3)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、積極的に情報を発信することによりPRを行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

②総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布

来園者を対象に広い園内をわかりやすく紹介する総合案内パンフレットを作成し配布することで、サービス向上を図りつつ、来園目的以外の施設へも足を運び園内を周遊してもらえよう促す。市内小学校の全児童に年2回、夏・冬休みのイベントをまとめた子ども向け情報紙「もりくる」を配布する等PRを行う。

③マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で毎週配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらうよう積極的にPRに努める。また、旅行会社やコンベンションビューローと連携し、MICE事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

5 彫刻美術館事業(本郷新記念札幌彫刻美術館)

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1)展覧会事業

①コレクション展 彫刻の設計図リターンズ

[前年度より継続の事業]

本郷新の野外彫刻の構想、設計段階で描かれたアイデアスケッチや図面を展示し、作品が形づくられていく過程を紹介する。令和3年度に同じ趣旨で開催したが、コロナ禍での臨時休館により観覧者が少なかった展覧会を、内容をさらに充実させて実施する。

期 日：令和7年3月8日(土)～5月25日(日)68日間(うち、令和7年度48日間)

会 場：本館

②没後50年 山内壮夫展

新規

本郷新と親交の深かった北海道出身の彫刻家山内壮夫(1907-75)の展覧会。札幌や旭川など各地にある野外彫刻が今なお親しまれているが、札幌では初の回顧展となる。その業績を改めて体系的にまとめるとともに、新しい調査研究の成果も反映させ、山内芸術の魅力に迫る。

期 日：令和7年6月14日(土)～9月28日(日)92日間

会 場：本館

③彫刻三昧(仮称)

新規

芸術の森野外美術館の魅力を広く紹介する活動の一環として開催。館内に設置された彫刻の多彩な表現につながる近現代の彫刻の流れを、芸術の森美術館所蔵作品で紹介するとともに、開館当時に設置され、その後撤去されて芸術の森美術館に移った彫刻も展示する。

期 日：令和7年10月11日(土)～令和8年2月11日(水・祝)101日間

会 場：本館

④本郷新生誕120年記念 マンガで読み解く本郷新の生涯(仮称)

新規

本郷新生誕120年を記念して出版する伝記マンガ本の発刊に合わせ、その名場面を関連作品や資料とともに展示する。

期 日：令和8年2月21日(土)～5月24日(日)80日間(うち、令和7年度34日間)

会 場：本館

⑤コレクション展2024-2025

[前年度より継続の事業]

令和5年度開催の「かく語りき本郷新」展の内容を加え、本郷新の業績をわかりやすく、深く味わえる展示とする。

期 日：令和6年6月1日(土)～令和7年5月25日(日)303日間(うち、令和7年度48日間)

会 場：記念館

⑥コレクション展 2025-2026

これまでの常設展示に加え、本郷新の蔵書展示、入門的解説の追加、映像上映など、本郷新の業績をわかりやすく紹介する展示とする。

期 日：令和7年5月31日(土)～令和8年5月24日(日)301日間(うち、令和7年度254日間)

会 場：記念館

⑦さっぽろ雪像彫刻展2026

造形性を重視した、他とは一線を画する雪像展の17回目。札幌を中心に活動する彫刻家や木工家、造形作家、美術を学ぶ学生たちが雪の特性を生かしつつ独創性に満ちた雪像彫刻を制作し、3日間限りで展示・公開する。

期 日：令和8年1月23日(金)～25日(日)3日間

会 場：本館前庭

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

⑧さっぽろ雪まつり出品「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」

第76回さっぽろ雪まつり大通会場に、当館が選出した美術家、工芸家が芸術性と独創性あふれる雪像彫刻を制作、出品する。

期 日：令和8年2月4日(水)～11日(水・祝)8日間

会 場：大通会場6丁目

主 催：さっぽろ雪まつり実行委員会

(2)本郷新記念札幌彫刻賞

①第4回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品展示

第4回本郷新記念札幌彫刻賞を受賞した藤原千也の《太陽のふね》の芸術の森美術館中庭での展示を継続する。また、秋分の日前後にイベントを行う。

期 日：令和6年5月中旬～令和9年4月末

会 場：札幌芸術の森美術館中庭

(3)普及事業

①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待する、芸術の森美術館との共同事業「ハロー！ミュージアム」の選択コースとして、対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた「彫美・鑑賞コース」を実施する。

期 日：令和7年6月～12月

会 場：本館、記念館

②彫美連続講座

彫刻芸術への興味・関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：令和7年5月13日(火)、8月6日(水)、令和8年3月21日(土)

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTSコート、SCARTSスタジオ

③造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人や小学生を主な対象とした「造形教室」を実施。彫刻家を講師とした彫刻のデッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：令和7年8月、令和8年1月

④館長講話

職員により、彫刻や札幌の美術に関する連続講話を行い、美術館への親近感を高める。

期 日：通年(15回程度)

会 場：本館研修室

⑤札幌おしゃべり美術部

中学生以上を対象とした鑑賞ワークショップ。美術館の作品について感想を交換し合い、お気に入りの作品を見つけて、最後は作品の解説文を作ることにチャレンジする。成果物は「おしゃべり美術部レター」にて公表する。

期 日：年2回程度(調整中)

会 場：本館、記念館

⑥酒井忠康彫刻文庫公開

酒井忠康(前世田谷美術館館長)から寄贈された彫刻関連の蔵書をリスト化してホームページ等で公表し研究者に活用してもらうとともに、日を決めて市民にも公開する。

期 日：通年

会 場：本館研修室

⑦子どもへの本郷新周知事業

本郷新の生涯をマンガで紹介する本を出版し、市内の小中学校や図書館等に配布し、子どもたちにもその造形性や精神を知ってもらい、末永く愛される存在となっていくことを目指す。また、出版に合わせ、展覧会を開催するほか、製作関係者によるトークイベントを実施する。

期 日：令和8年2月発行

(4)協力事業

①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究など学校教育への協力を行う。

期 日：通年

②博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得希望の大学4年生を対象とした博物館実習(館園実習)の受け入れ、指導を行う。

期 日：令和7年9月

③ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。

期 日：通年

(5)連携事業

①地域・企業との連携

展覧会、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

(6)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に配信する。また、X、Facebook、InstagramのSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行う。

期 日：通年

②地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

期 日：通年

(7)利用促進

①サンクスデー

開館記念日(6月29日)に近い日曜日と秋の一日を無料開館し、各種イベントを実施して、幅広い層の来館者の利用促進を図る。

期 日：令和7年6月22日(日)、10月19日(日)(調整中)

②図書・情報コーナー

本郷新および彫刻美術館に関する図書や北海道内に設置された野外彫刻の写真資料を公開し、来館者の閲覧に供する。

期 日：通年

会 場：記念館2階

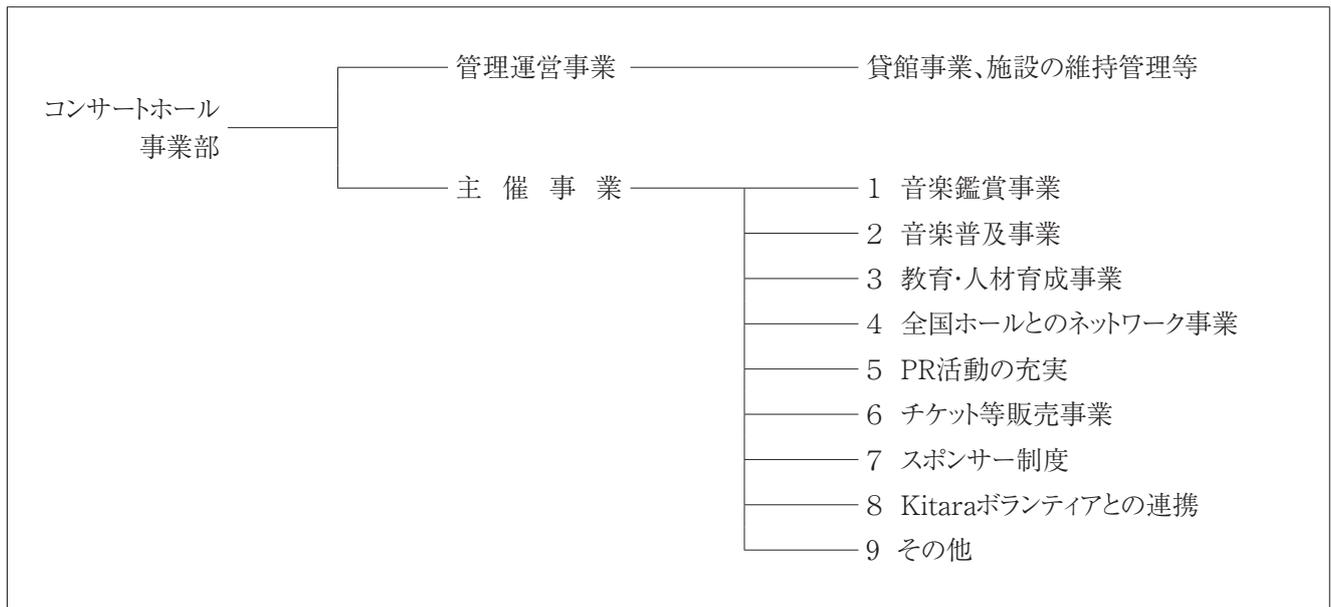
③グッズ販売

所蔵品ポストカード、過去図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用状況			令和5年度実績	令和6年度見込	令和7年度目標
	大ホール	利用率	83.7%	84.7%	86.0%
	小ホール	利用率	71.2%	71.9%	76.0%
	総入場者数		295,558人	323,000人	375,000人

【参考】

令和4年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：57.9% 小ホール(500席未満)：54.5%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和5年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民のニーズが高い海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、道内のホールと連携し魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性を活かし〈Kitaraワールドオーケストラシリーズ〉として、世界的に著名なオーケストラの演奏の鑑賞機会を市民に提供する。

① 反田 恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ

新規

道内3館(北見、帯広、函館)と連携し、道民に人気の高い反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラの演奏を道内ツアーとして実施し、北海道の音楽振興を図る。

期 日：令和7年9月11日(木)

会 場：大ホール

出 演：反田恭平(ピアノ・指揮)

ジャパン・ナショナル・オーケストラ(管弦楽)

② チョン・ミョンフン指揮 ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団

新規

イタリアの名門歌劇場のオーケストラ ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団が当楽団名誉指揮者を務めるチョン・ミョンフンに加えて、世界各国で活躍するピアニスト 藤田真央をソリストに迎えたコンサートを開催する。

期 日：令和7年9月20日(土)

会 場：大ホール

出 演：チョン・ミョンフン(指揮)

藤田真央(ピアノ)

ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)

(2) ソリストシリーズ

器楽、声楽等の各分野の著名な演奏者(ソリスト)を招へいし、〈Kitaraワールドソリストシリーズ〉として質の高い演奏を市民に紹介する。

① 鈴木 雅明 チェンバロリサイタル

新規

日本を代表する古楽器オーケストラ「バッハ・コレギウム・ジャパン」を創設し、世界的なバッハ演奏の第一人者である鈴木雅明によるチェンバロリサイタルを開催する。

期 日：令和7年7月10日(木)

会 場：小ホール

出 演：鈴木雅明(チェンバロ)

② フランチェスカ・デゴ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル

新規

パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールで入賞し、イタリア人女性初の受賞者として注目を集める人気ヴァイオリン奏者であるフランチェスカ・デゴを招へいする。

期 日：令和8年1月18日(日)

会 場：小ホール

出 演：フランチェスカ・デゴ(ヴァイオリン)

③〈第28回リスト音楽院セミナー〉講師による特別コンサート

リスト音楽院セミナーにあわせ、世界的な音楽教育機関の講師による特別コンサートを実施する。

期 日：令和8年2月18日(水)、2月19日(木)
会 場：小ホール
出 演：リスト音楽院セミナー講師

(3)室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性を活かした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を市民に紹介する。

①ザ・ベース・ギャング

新規

ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団をはじめ、世界トップクラスのオーケストラのコントラバス奏者4名で結成されたザ・ベース・ギャングを招へいする。

期 日：令和7年11月7日(金)
会 場：小ホール
出 演：ザ・ベース・ギャング(コントラバス四重奏)

②〈ハンガリーの俊英たちVI〉サバディ・イルディコ フルーツリサイタル

ハンガリーのリスト音楽院との連携により、ハンガリーの優秀な若手アーティストを紹介するプロジェクトの第6弾。ハンガリーを拠点に活動するフルーティスト サバディ・イルディコを招へいし、リサイタルを開催する。

期 日：令和8年2月14日(土)
会 場：小ホール
出 演：サバディ・イルディコ(フルート)

2 音楽普及事業

道内唯一のプロオーケストラ札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し音楽の普及を図る。

(1)ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると

札幌コンサートホールの各施設を使い、ゴールデンウィークの3日間にわたり演奏会や見学会、その他の体験イベントなどを企画する音楽祭。クラシック音楽の普及とコンサートホールに気軽に足を運んでいただけることを目的とし、未就学児も入場可能なコンサートを実施するほか、地元音楽家も多数出演する。

期 日：令和7年5月3日(土・祝)～5日(月・祝)
会 場：全館

①きがるにオーケストラ

江別市出身の指揮者 水戸博之を迎え、市内高校吹奏楽部のトランペットメンバーとともに、運動会やスポーツなどをテーマにした名曲のオーケストラ作品等を披露する。

期 日：令和7年5月3日(土・祝)
会 場：大ホール
出 演：水戸博之(指揮・お話)
札幌交響楽団(管弦楽)
市立札幌新川高等学校吹奏楽部トランペットメンバー(共演)

②スプリング・ブラス～中学生スペシャル！

市内中学校吹奏楽部による各学校の演奏のほか、合同演奏も行う5歳以上の入場可能なコンサート。

期 日：令和7年5月4日(日・祝)
会 場：大ホール
出 演：札幌市立啓明中学校、白石中学校、北都中学校 吹奏楽部(吹奏楽)
中吹研合同バンド2025(指揮/菅原克広)(吹奏楽)

③ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～

オルガン初心者や子どもも親しみやすい、5歳以上が入場可能な名曲オルガンコンサートを行う。

期 日：令和7年5月5日(月・祝)

会 場：大ホール

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)
古屋瞳(司会)

④3歳からのコンサート

3歳から入場できるミニコンサート。北海道出身のアーティストを中心に招へいし、親子で楽しめる親しみやすいプログラムを実施する。

期 日：令和7年5月3日(土・祝)～5日(月・祝)

会 場：小ホール

出 演：田村緑(ピアノ・お話)
山下絵恋(フルート・絵本朗読)
岡田奏(ピアノ)
川島沙耶(ソプラノ)
下司貴大(バリトン)
山本真平(ピアノ)

(2)オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、子どもから大人まで時節のイベント等を取り入れて、オルガンに親しむことができるコンサートを行う。

①ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～(再掲)

②Kitaraのバースデイ

Kitaraのシンボルであるパイプオルガンの魅力を広めるため、ワンコインで鑑賞できる公演を実施する。クラシック初心者や0歳児も含めた未就学児を連れたファミリー向けの公演と、クラシック及びオルガンファン向けの公演を2部制で行う。

期 日：令和7年7月5日(土)

会 場：大ホール

出 演：ファニー・クソー(オルガン・ピアノ)
吉村怜子(オルガン)

③第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト

ファニー・クソー フェアウェルオルガンリサイタル

第25代札幌コンサートホールオルガニスト ファニー・クソーの1年間の任期の締めくくりとなるさよなら公演を実施する。

期 日：令和7年8月23日(土)

会 場：大ホール

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

④第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル

令和7年9月に着任予定の第26代札幌コンサートホール専属オルガニストのデビューコンサートを実施する。

期 日：令和7年10月11日(土)

会 場：大ホール

出 演：第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト

⑤クリスマスオルガンコンサート

パイプオルガンと地元高校生の合唱によるクリスマスにちなんだ楽曲のコンサートを開催する。ミュンヘンクリスマス市と協力し相互PRを行う。

期 日：令和7年12月21日(日)

会 場：大ホール

出 演：第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト
大木秀一(指揮)
市立札幌旭丘高等学校合唱部
札幌山の手高等学校合唱部

⑥オルガンウィンターコンサート

雪まつりの時期にあわせ、オルガン音楽の普及を目的として気軽に来場できるワンコインオルガンコンサートを開催する。

期 日：令和8年2月7日(土)

会 場：大ホール

出 演：第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト

⑦オルガンCD制作

第26代札幌コンサートホール専属オルガニストによる大ホールのパイプオルガンの演奏を録音。広くオルガン音楽を紹介するとともに、オルガンやオルガニストのPRとして活用する。

(3) 札幌オーケストラシリーズ

クリスマス等の季節のイベントにふさわしい、家族で楽しめるコンサートを開催し、オーケストラの魅力を伝える。

①きがるにオーケストラ(再掲)

②Kitaraのクリスマス

札幌出身の指揮者 横山奏と、活躍が期待される高校生ヴァイオリニスト 村田夏帆を迎え、クリスマスを祝うコンサートを開催する。また、来場が困難な高齢者のため、札幌市内の老人ホームに本公演の演奏曲から抜粋した1~2曲を期間限定でYouTube配信を行う。

期 日：令和7年12月20日(土)

会 場：大ホール

出 演：横山奏(指揮)
村田夏帆(ヴァイオリン)
札幌交響楽団(管弦楽)

③Kitaraのニューイヤー ~オペラアリア名曲選~

人気の高い指揮者 原田慶太楼と、森麻季、森谷真理、大西宇宙の3名の歌手を迎え、「ニューイヤーオペラアリア名曲選」をテーマとした華やかなプログラムをお届けする。また、公演当日に雪が降った場合には専属オルガニストがプレコンサートを行う「雪の日特典」を実施する。

期 日：令和8年1月10日(土)

会 場：大ホール

出 演：原田慶太楼(指揮)
森麻季(ソプラノ)
森谷真理(ソプラノ)
大西宇宙(バリトン)
札幌交響楽団(管弦楽)
第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト／プレコンサート

(4) Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ

初めてクラシック音楽に触れるお客様にもKitaraファンにもお楽しみいただける、90分から120分の〈Kitaraアフタヌーンコンサート〉を開催する。令和7年度は“生誕340周年を迎えるJ.S.バッハを讃えて”をシリーズ全体のテーマとする。

①〈Kitara×札幌芸術の森連携事業〉

金子 三勇士 ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～

新規

人気ピアニスト 金子三勇士を迎え、令和8年度に開館40周年を迎える芸術の森との連携事業として、芸術の森野外美術館の作品をテーマにしたコンサートを開催する。

期 日：令和7年9月28日(日)

会 場：大ホール

出 演：金子三勇士(ピアノ)

②朴 葵姫 ギターリサイタル

新規

多くの国際ギターコンクールで功績を残している現世代クラシックギタリストの朴葵姫を招へいし、ギターリサイタルを開催する。

期 日：令和7年10月25日(土)

会 場：小ホール

出 演：朴葵姫(ギター)

③浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業

第12回 浜松国際ピアノコンクール優勝／札幌市長賞受賞者

鈴木 愛美 ピアノリサイタル

札幌市と浜松市の音楽文化都市交流協定に基づき、コンクール優勝者の演奏会を開催する。

期 日：令和7年11月22日(土)

会 場：小ホール

出 演：鈴木愛美(ピアノ)

(5) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により地元演奏家のレベルアップと聴衆づくりを目指す。

①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会

札幌で活動する若手演奏家によるコンサートを開催。北海道教育大学、札幌大谷大学の各校から推薦された在校生、卒業生を広く市民に紹介する。

期 日：令和7年12月6日(土)

会 場：小ホール

出 演：北海道教育大学、札幌大谷大学から推薦された在校生、卒業生

②令和7年度Kitaraアーティスト・サポートプログラムI、II

市内音楽家から創意工夫に富む意欲的な企画を公募し、会場費の補助と広報支援を行う。

期 日：令和8年1月28日(水)、3月11日(水)

会 場：小ホール

出 演：札幌で活躍する音楽家(個人、団体)

③〈Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト〉

札幌の音彩(ねいろ)Ⅲ～春をつげる北のアーティストたち～

指揮者 横山奏を迎え、札幌音楽家協議会会員による室内オーケストラを中心に、ピアノ、声楽、アンサンブルなどバラエティに富んだプログラムをお届けする。

期 日：令和8年3月21日(土)

会 場：小ホール

出 演：横山奏(指揮)

札幌音楽家協議会合唱団(合唱)

札幌音楽家協議会室内オーケストラ(管弦楽)

(6) 社会包摂事業

文化芸術施設に来館する機会の少ない方々にも音楽の楽しさを届けることができる、親子向け、障がい児向けの事業を実施する。

①0歳からのコンサート 絵本deクラシック

絵本アニメーションを巨大なスクリーンに投影し、声優による朗読と金管楽器やピアノの生演奏による0歳から鑑賞可能な親子で楽しめるコンサートを開催する。

期 日：令和7年6月7日(土)

会 場：大ホール

出 演：トラベル・ブラス・クインテット⁺(金管アンサンブル)

岡村明美(朗読)

吉村怜子(オルガン／プレコンサート)

②子どものためのKitara参加型音楽会

障がいのある児童に向けた音楽ワークショップで令和7年度で4回目となる。今回は新たに視覚障がい児も参加するほか、市内音楽家を対象とした指導者育成ワークショップをあわせて実施する。

期 日：令和7年9月3日(水)、4日(木)

会 場：大ホール

出 演：音楽ワークショップ・アーティスト おとみつく(演奏・お話)

(7) 他事業部との連携事業

財団他事業部と連携し、新たなファン増加の取り組みを行う。

①〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～

市内演奏家を招き、第25代札幌コンサートホール専属オルガニストによるポジティブオルガンのアウトリーチコンサートを開催する。

期 日：令和7年4月19日(土)

会 場：札幌市民ギャラリー

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

林ひかる(ヴァイオリン)

②〈Kitara×札幌芸術の森連携事業〉

金子 三勇士 ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～(再掲)

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施する。また、開館以来実施している世界的な音楽教育機関であるリスト音楽院との連携によるセミナー及びオルガンセミナーの開催等により、演奏家や指導者の育成にも努める。

(1) エデュケーションプログラム

① Kitaraあ・ら・かると

- 1) きがるにオーケストラ(再掲)
- 2) スプリング・ブラス～中学生スペシャル！(再掲)
- 3) ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～(再掲)
- 4) 3歳からのコンサート(再掲)

② 0歳からのコンサート 絵本deクラシック(再掲)

③ Kitaraファースト・コンサート

札幌市内及び札幌近郊8市町村の全小学6年生をクラシックコンサートに招待する。音楽の授業の一環として、世界屈指の音響を誇るKitaraで本物の音楽を体験する機会を提供する。

期 日：令和7年9月25日(木)、26日(金)、
令和7年10月28日(火)、29日(水)、
令和7年11月10日(月)、11日(火)

会 場：大ホール

出 演：川瀬賢太郎(指揮／9月)
下野竜也(指揮／10月)
エリアス・グランディ(指揮／11月)
第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン)
札幌交響楽団(管弦楽)
古屋瞳(司会)

④ 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)

(2) アウトリーチ事業

① 〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～(再掲)

② 専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)

専属オルガニストが移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサート。市内小学校へのアウトリーチは札幌市「学校DEカルチャー」の一環として実施。

期 日：令和7年6月～令和8年2月(調整中)

会 場：札幌市内小学校 2～3校程度

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)
第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン)
吉村怜子(お話・オルガン)

(3) セミナー事業

世界的な音楽教育機関及び地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

①〈札幌大谷大学・Kitara連携事業〉パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン

地元音楽大学の学生を主な対象とし、一般も参加可能なパイプオルガンについての特別講義とオルガン体験レッスンを実施する。

期 日：講義 令和7年5月22日(木)

体験レッスン 令和7年6月17日(火)

会 場：大ホール、大リハーサル室

講 師：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②第28回リスト音楽院セミナー

世界的音楽教育機関であるリスト音楽院から教授を招へいし、レッスンと演奏会を行う。

期 日：令和8年2月18日(水)～23日(月・祝)

会 場：小ホール、各リハーサル室

主 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、リスト音楽院セミナー実行委員会(音楽大学教授 ほか)

協 力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

後 援：駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センター、株式会社河合楽器製作所 北海道支店、
日本ハンガリー友好協会

講 師：マイクロシュ・ペレーニ(チェロ)

ガーボル・ファルカシュ(ピアノ)

バラージュ・レーティ(ピアノ)

1) 講師による特別コンサート(再掲)

2) 〈札幌大谷大学・Kitara連携事業〉特別レクチャー&公開レッスン

セミナーで招へいしたリスト音楽院教授によるレクチャーと北海道教育大学、札幌大谷大学学生への公開レッスンをあわせて行う。

期 日：令和8年2月22日(日)

会 場：小ホール

受講生：北海道教育大学学生、札幌大谷大学学生

講 師：リスト音楽院セミナー講師

3) 受講生コンサート

セミナー受講生の中から選ばれた優秀者によるコンサートを実施する。最優秀受講生を選考し、翌年以降、ハンガリーで開催される音楽祭に派遣する。

期 日：令和8年2月23日(月・祝)

会 場：小ホール

出 演：第27回リスト音楽院セミナー最優秀受講生(ゲスト)

第28回リスト音楽院セミナー優秀受講生6～8名

(4) 地元音楽大学等との連携事業

音楽学科を設置している地元大学と連携し、未来の音楽家を目指す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

①〈札幌大谷大学・Kitara連携事業〉パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン(再掲)

②〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)

③〈第28回リスト音楽院セミナー〉〈札幌大谷大学・Kitara連携事業〉特別レクチャー&公開レッスン(再掲)

(5)PMF共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の趣旨に賛同し、共催して事業を行う。

期 日：令和7年7月

4 全国ホールとのネットワーク事業

全国のホールと連携し、魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。また、札幌コンサートホール専属オルガニスト、招へい演奏家による公演を他都市のホールで開催する。

(1)ホール・他都市連携事業

①浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業

第12回 浜松国際ピアノコンクール優勝／札幌市長賞受賞者

鈴木 愛美 ピアノリサイタル(再掲)

(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を他都市に紹介

①専属オルガニストによる公演

1)那須野が原ハーモニーホール オルガンコンサート

期 日：令和7年6月28日(土)

会 場：那須野が原ハーモニーホール(栃木県)

主 催：公益財団法人那須野が原文化振興財団

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

2)ザ・シンフォニーホール オールバッハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート2025

期 日：令和7年8月2日(土)

会 場：ザ・シンフォニーホール(大阪市)

主 催：株式会社ザ・シンフォニーホール

出 演：ファニー・クソー(第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②反田 恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ 北海道ツアー2025

1)北見公演

期 日：令和7年9月9日(火)

会 場：北見市民会館(北見市)

主 催：北見市、北見市教育委員会、株式会社日専連ニックコーポレーション

出 演：反田恭平(ピアノ・指揮)

ジャパン・ナショナル・オーケストラ(管弦楽)

2)帯広公演

期 日：令和7年9月10日(水)

会 場：帯広市民文化ホール(帯広市)

主 催：一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団

出 演：反田恭平(ピアノ・指揮)

ジャパン・ナショナル・オーケストラ(管弦楽)

3) 函館公演

期 日：令和7年9月13日(土)

会 場：函館市民会館(函館市)

主 催：公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

出 演：反田恭平(ピアノ・指揮)

ジャパン・ナショナル・オーケストラ(管弦楽)

(3) 国内ホールとの情報交換

① コンサートホール企画連絡会議(道外)

参加館：アクロス福岡、京都コンサートホール、すみだトリフォニーホール、所沢ミューズ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)、札幌コンサートホール

期 日：令和7年7月、令和8年2月

5 PR活動の充実

ホール及び主催事業のPRを実施するとともに会員制度を運営し、より多くの方にKitaraにお越しいただけるよう努める。

(1) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、様々な媒体により積極的な広報活動を行う。

① 公演情報誌「KitaraNEWS」の発行

② ホームページ、Kitaraアプリ、XやInstagramなどのソーシャルメディア、テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用した情報提供

③ 音楽専門誌、タウン情報誌、新聞等への広告掲載

④ SNS広告を活用したチケット販売促進、広報の強化

⑤ 公共交通機関等を利用した広告掲出

⑥ Kitaraギャラリーを活用した展示事業

⑦ 近隣ホテル、観光機関と連携したPR展開

⑧ 各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか)

⑨ 全国音楽ホール、札幌市内公共施設及び小中学校、地下鉄主要駅、ホテル、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付

(2) 会員制度の運営

札幌コンサートホールの会員制度である「KitaraClub(有料)」と「Kitaraアプリ会員(無料)」を運営する。会員に主催事業や施設情報を随時提供するほか、チケット先行販売や割引等の特典提供も行い、チケットの販売促進に努める。

各会員の特典や入会のメリットを広くPRし、会員数の増加を図り安定した運営を行う。

6 チケット等販売事業

お客様の利便性を図るため、チケット販売のほか、ホールへの愛着感の醸成にもつながるオリジナルグッズの販売を行う。

(1) チケット販売

札幌コンサートホールで行われるチケットのほか、他施設で開催されるクラシック公演のチケットも販売を行う。また、令和6年度に英語化対応したチケットのウェブ販売を周知し、外国人の利便性向上を図る。

(2) グッズ販売

札幌コンサートホールのオリジナルグッズや音楽関連グッズの販売に加え、専属オルガニストCDやKitaraセレクトワインの販売等を行い、コンサート以外にも楽しんでいただけるショップ運営を行う。あわせて、オンラインショップでのオリジナルグッズ販売も行う。

7 スポンサー制度

ホール運営の安定化と充実化を図るため、スポンサー制度を広く周知し、スポンサーの獲得に努める。

(1) ホールスポンサー

「ゴールドスポンサー」と「シルバースポンサー」の2つのグレードを設け、ホール全般に対して協賛いただくスポンサーを募る。ホールスポンサーには、グレードに応じた広報特典等を提供する。

(2) 事業スポンサー

ホール主催事業に対して協賛いただくスポンサーを募る。協賛金のほか、来場者用プレゼント等を提供いただける企業も広く募集する。

8 Kitaraボランティアとの連携

札幌コンサートホールの支援組織である「Kitaraボランティア」との連携により各種事業等を実施し、ホールの活動充実を図る。

人 数：102名(令和6年12月現在)

(1) ダイレクトメール発送活動

(2) ホール見学案内

(3) Kitaraギャラリー運営補助

(4) 主催事業補助(リスト音楽院セミナー ほか)

(5) 専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)

(6) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

9 その他

① 演奏会付き防災訓練

安全・安心なホール運営を行うため、市民に来場者として参加していただく防災訓練を実施する。

期 日：令和8年1月23日(金)

協 力：札幌市消防音楽隊

② 札幌コンサートホール施設見学会

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に案内する。

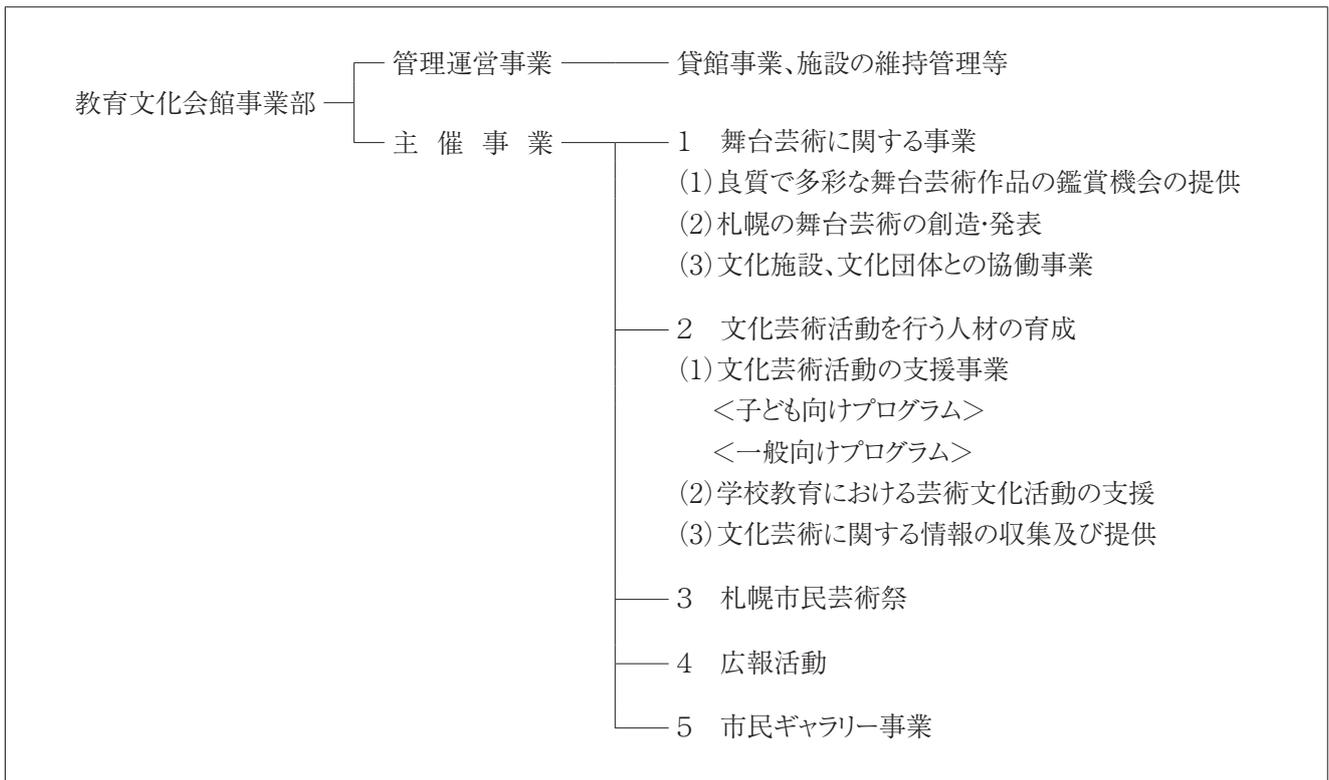
期 日：年2～3回

③ ゆきあかり in 中島公園等、地域連携

さっぽろ雪まつり期間中に、中島公園を中心とした地域の風物詩を作り上げることを目的として、近隣の施設・住民と協力しながら公園内を雪と灯(あかり)で彩る「ゆきあかり in 中島公園」に参加するほか、地域で行われるイベントに対し協力する。

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和5年度実績	令和6年度見込	令和7年度目標
利用状況	札幌市教育文化会館	大ホール 利用率	—	84.9%	80.0%
		小ホール 利用率	—	70.7%	80.0%
		総入場者数	—	253,000人	580,000人
	札幌市民ギャラリー	展示室(第1～第5展示室) 利用率	82.7%	83.4%	85.0%
		総入場者数	146,682人	118,000人	135,000人

※札幌市教育文化会館は大規模改修工事のため、令和5年1月1日～令和6年9月30日休館。
 ※札幌市民ギャラリーは1階重量壁等改修工事のため、令和7年3月4日～16日まで利用休止。
 ※札幌市民ギャラリーは2階重量壁等改修工事のため、令和8年1月12日～25日まで利用休止予定。

【参考】

令和4年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：57.9% 小ホール(500席未満)：54.5%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和5年度 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 舞台芸術に関する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品と次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、質の高い舞台芸術作品を上演する。あわせて、舞台作品への理解を深めるためのレクチャーなどを実施することで鑑賞者の拡大を図る。

① 演劇公演「Workers ワーカーズ！」

新規

木材会社を舞台に、大工が材木を組み上げながら、みるみるサーカスになっていく演劇公演。地域産業と芸術文化が巡り合う劇場で、やすらぎの木の香りとダイナミックなアーティストの動きに触れながら、観客も舞台を創り上げる参加型プログラムを実施する。

期 日：令和7年8月20日(水)

会 場：小ホール

出 演：瀬戸内サーカス

制 作：瀬戸内サーカスファクトリー

② 教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」(仮称)

令和7年4月より供用する、改修後の「屋根付き能舞台」を使用した伝統的な能楽公演として金剛流能楽師を招へいし実施する。

期 日：令和7年10月29日(水)

会 場：大ホール

出 演：金剛流能楽師 ほか

制 作：LOTUS

③ 教文伝統芸能シリーズ「夜能」

新規

令和7年4月より供用する、改修後の「屋根付き能舞台」を使用した新たなジャンルを取り込んだ能楽公演として、宝生流能楽師および声優を招へいし実施する。

期 日：令和7年10月31日(金)

会 場：大ホール

出 演：宝生流能楽師 ほか

制 作：公益社団法人 宝生会

④ 人形浄瑠璃文楽

日本の代表的な伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている文楽を市民に紹介する。

期 日：令和7年11月18日(火)

会 場：小ホール

演 目：昼の部「義経千本桜」道行初音旅、「新版歌祭文」野崎村の段
夜の部「曾根崎心中」生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段

制 作：公益財団法人文楽協会

⑤ 松竹大歌舞伎

伝統芸能である歌舞伎の普及を目的として、公益社団法人全国公立文化施設協会が企画し、市民に人気の高い歌舞伎の全国巡回公演を実施する。

期 日：令和7年11月19日(水)2回公演

会 場：大ホール

出 演：中村又五郎、中村歌昇、中村種之助 ほか

主 催：公益社団法人全国公立文化施設協会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社道新文化事業社

(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

① 教文演劇フェスティバル2025

地元演劇関係者の協力により、教文短編演劇祭を中心に、演劇関連ワークショップなどを行い、札幌の演劇シーンの活性化に努める。

期 日：令和7年8月26日(火)～29日(金)

会 場：小ホール、研修室、リハーサル室

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局

② 教文オペラプログラム「おみきとっくり」ほか

新規

市内のオペラ団体と協力し、北海道初演のオペラ公演を開催する。子どもから楽しめるファミリー向けプログラムを通してオペラの普及振興を図る。

期 日：令和8年1月

会 場：小ホール

主 催：LCアルモーニカ、札幌オペラシンガーズ ほか

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

③ 教文オペラ ちいさなひとのためのオペラ「銀河鉄道の夜」

新規

市内の声楽団体と協力し、親子で楽しめるファミリーコンサートを開催する。ファミリー向けプログラムを通してオペラの普及振興を図る。

期 日：令和7年6月28日(土)

会 場：小ホール

出 演：accie(アッチェ)

④ 教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ)

市内オペラ団体などと協力し、オペラの普及振興を図る目的で、小学生を対象としたお届けコンサートを開催する。

期 日：令和7年6月～11月

会 場：市内小学校 10校(予定)

(3) 文化施設、文化団体との協働事業

① 演劇公演 東京サンシャインボーイズ復活公演「蒙古が襲来」

新規

三谷幸喜氏による東京サンシャインボーイズ復活公演を株式会社道新文化事業者ほかと共催で実施する。

期 日：令和7年4月3日(木)～6日(日)

会 場：大ホール

制 作：株式会社パルコ

主 催：株式会社サンライズプロモーション東京、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

② 能楽鑑賞のひとつき

札幌の能楽愛好団体による能の発表会を行う。

期 日：令和7年4月29日(火・祝)

会 場：大ホール

主 催：札幌能楽会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

③人形劇フェスティバル2026年 さっぽろ冬の祭典

市内の人形劇サークルの合同公演を札幌人形劇協議会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と共催する。人形劇の魅力を広く市民に紹介するとともに、札幌における人形劇の普及・発展を目指す。

期 日：令和8年2月22日(日)、23日(月・祝)

会 場：小ホール

主 催：札幌人形劇協議会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

後 援：札幌市PTA協議会、札幌市小学校長会 ほか

④第66回子ども舞踊祭 Junior Festival

市内の青少年と舞踊指導者の育成および成果発表の場として、児童・生徒約300人が出演するクラシックバレエ、現代舞踊の公演を札幌洋舞連盟と共催し、実施する。

期 日：令和8年3月27日(金)、28日(土)

会 場：大ホール

主 催：札幌洋舞連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

2 文化芸術活動を行う人材の育成

(1)文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。現場に関わるスタッフからの指導を通して舞台芸術の制作を行うことで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

<子ども向けプログラム>

①小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和7年8月15日(金)、16日(土)

会 場：小ホール

講 師：能楽師 小倉健太郎、藤井秋雄(シテ方宝生流)

協 力：札幌宝生会

②子ども演劇ワークショップ

公募による子どもと地元劇団の大人による出演者がワークショップを経て演劇を制作し、発表公演を実施する。講師・スタッフには札幌市内の舞台芸術人材を起用する。

期 日：令和7年7月1日(火)～11月3日(月・祝)

会 場：研修室、リハーサル室(ワークショップ会場)、ジョブキタ北八劇場(発表公演)

演出・指導：納谷真大、ELEVEN NINESメンバー

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、一般財団法人 田中記念劇場財団

③子ども体験新喜劇ワークショップ

放送作家の砂川一茂氏、川村賢司氏らを講師に迎え、子ども向け「体験新喜劇」ワークショップを行う。笑いのテクニックや新喜劇の面白さを体験する。

期 日：令和8年1月

会 場：研修室401

講 師：砂川一茂(放送作家)、川村賢司(映像ディレクター) ほか

<一般向けプログラム>

①市民参加型ワークショップ 大連吟 札幌

新規

年齢、国籍等を問わず札幌市在住の方々が広く参加可能な能楽の謡を学ぶワークショップを実施し、プロの能楽師による能楽公演へ参加する形での成果発表を行う。

期 日：通年(ワークショップ5回、成果発表会開催予定)

会 場：大ホール、研修室 ほか

講 師：調整中

(2) 学校教育における芸術文化活動の支援

舞台芸術活動の将来を担う小・中・高校生の学校教育に係る文化活動を支援し、発表の場を提供するとともに、演劇上映のためのアドバイス、技術指導を行う。

①中文連演劇ワークショップ2025

札幌市内中学校の演劇部員を対象に、演劇についての知識や表現力を磨く演劇ワークショップの開催を支援する。

期 日：令和7年5月17日(土)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：北海道中学校演劇研究会

講 師：札幌市内中学校教諭 ほか

②第71回高文連石狩支部演奏会

他校生徒との交流を深め、技術の向上を目指して開催する演奏会を支援する。高文連石狩支部加盟の合唱・吹奏楽・器楽管弦楽・日本音楽の4部門の参加校が日頃の成果を発表するほか、合唱、吹奏楽部門でそれぞれ合同演奏を行う。審査により全道大会出場校を推薦する。

期 日：令和7年6月19日(木)、20日(金)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

③第40回札幌市中文連演劇発表会

学校教育における芸術・文化活動を奨励する教育普及活動として中文連の演劇発表会を支援する。市内中学校の演劇部が日頃の成果を発表し、最優秀校2校が全道大会に出場する。

期 日：令和7年8月1日(金)～4日(月)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

④第75回高文連石狩支部高校演劇発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加する演劇発表大会を支援する。最優秀・優秀・優良・奨励各賞および創作脚本奨励賞を選考する。最優秀校は、全道演劇発表大会に出場する。

期 日：令和7年9月30日(火)～10月8日(水)

会 場：小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑤第77回札幌市中学校音楽会

音楽活動の将来を担う中学生の育成を目的とした演奏会を支援する。各地区から選抜された出演校が合唱、吹奏楽などの分野に分かれて日頃の成果を発表する。

期 日：令和7年10月26日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市中学校長会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、札幌市教育委員会

後 援：札幌市中学校吹奏楽研究協議会、札幌市合唱教育研究会 ほか

⑥第75回高文連全道高等学校演劇発表大会

北海道内各地区から選出された高校が日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。

期 日：令和7年11月12日(水)～17日(月)

会 場：大ホール、小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟、全国高等学校演劇協議会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団) ほか

⑦第20回北海道中学生演劇発表大会

北海道内各地区から選出された中学校が日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。

最優秀1校、優秀2校を選考し、最優秀校は北海道代表として全国大会へ出場する。

期 日：令和7年11月22日(土)、11月23日(日・祝)

会 場：小ホール

主 催：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社北海道新聞社 ほか

後 援：北海道中学校長会、札幌市中学校長会、全国中学校文化連盟 ほか

⑧第39回札幌市小学校児童音楽祭

札幌市の小学校における豊かな音楽活動の発展と児童の音楽を愛好する心情の育成を目的に開催する合唱と器楽の演奏会を支援する。

期 日：令和8年2月7日(土)

会 場：大ホール

主 催：北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

協 賛：一般財団法人札幌市教育協会

後 援：札幌市小学校長会、北海道音楽教育連盟 ほか

(3)文化芸術に関する情報の収集及び提供

①公立文化施設等とのネットワーク

- ・公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- ・一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- ・札幌市内9劇場による「札幌劇場連絡会」間での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アーツステージ」の舞台芸術部門に参加する。

②実演家など専門家との交流やメディアの活用

- ・主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- ・地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともにニーズを把握し、企画に反映させる。

④包摂的機能強化

新規

教育文化会館で実施する各事業の対象者への的確な社会包摂的機能を強化する。

3 札幌市民芸術祭

音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野における市民の芸術文化の創造・発表活動を積極的に推進し、札幌市の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者約120名により実行委員会と10部会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

①札幌市民劇場

札幌市を中心に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップの企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通じ開催する。企画採用団体には助成金を交付するほか、市内公共施設へのチラシ配布や、札幌市教育文化会館ホームページ、SNSでの公演情報紹介などの広報協力を行い、市民の舞台芸術活動を支援する。

期 日：通年(4月～3月)

会 場：札幌市内各会場

②マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン奏者が出演する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体と社会人団体合同合奏の部の3部構成で、開演前のプレコンサートや楽器展示もを行い、マンドリンの魅力を広く市民に紹介する。

期 日：令和7年5月25日(日)

会 場：大ホール

③ギター音楽祭

オーディションにより選抜された札幌市内のクラシックギタリストおよび演奏団体が出演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の各部門で、小学生から一般まで幅広い年齢の市民が参加する。併せてゲスト演奏や開演前のプレコンサートを行い、クラシックギターの魅力を広く市民に紹介する。

期 日：オーディション 令和7年7月13日(日)

演奏会 令和7年9月7日(日)

会 場：オーディション 小ホール

演奏会 大ホール

④市民合唱祭

秋の合唱祭として市民に親しまれ、市内で活動する合唱団が出演する演奏会を2日間にわたり開催する。第1部は一般・職場・学生などのコーラスグループ、第2部はPTAその他のコーラスグループを対象とする。

期 日：第1部(一般・職場・大学・高校) 令和7年10月19日(日)

第2部(PTAその他) 令和7年10月18日(土)

会 場：大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門で札幌市民の文芸作品を公募し、入選作品を掲載した総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」を刊行する。付帯事業として、優秀作品の表彰式と記念講演のほか、作品選考委員と参加者が語り合い交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第42号刊行 令和7年10月下旬
さっぽろ市民文芸の集い 令和7年11月29日(土)

会 場：3階各研修室

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、将来の活躍が期待される若手のクラシック音楽家が出演する演奏会を開催する。ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の4部門でオーディションを行い出演者を決定する。来場者投票によるオーディエンス賞の贈呈や、前年度札幌市民芸術祭大賞受賞者による特別演奏も実施する。

期 日：オーディション 令和7年9月16日(火)～18日(木)
演奏会 令和7年11月3日(月・祝)

会 場：大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲(箏、三絃、尺八)の独奏、合奏の演奏会を開催し、邦楽の魅力を広く市民に紹介する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和7年8月10日(日)
演奏会 令和7年11月9日(日)

会 場：オーディション リハーサル室A
演奏会 小ホール

⑧市民美術・書道展

札幌市民による美術(油彩画、水彩画、日本画、版画、その他)と書道(漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字)の作品を公募し展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和7年12月3日(水)～7日(日)
会 場：札幌市民ギャラリー 各展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

札幌地区吹奏楽連盟に加盟する小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表する演奏会を2日間にわたり開催する。約70団体が出演し、幅広い演奏交流を通じて吹奏楽の魅力をも市民に紹介する。

期 日：令和8年1月24日(土)、25日(日)
会 場：大ホール

⑩市民写真展

市民が撮影した作品を公募し、写真の多様な世界を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和8年2月3日(火)～11日(水・祝) ※休館日(9日)を除く
会 場：ギャラリー

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動するなど内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申し込みや、各種問い合わせに対応するなど、Webによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌を編集するとともに、舞台芸術および関連分野における内容を特集する情報誌を発行する。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット媒体など様々なメディアを通じ情報提供および提携を図り、施設や主催事業について広く市民にPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

⑤案内、プレイガイド、物販

1階ロビーのプレイガイドにおいて、館内施設や催しの案内業務を行うとともに、主催事業や市内の各種舞台公演のチケット等を販売し、市民サービスの向上を図る。

⑥教文☆ナビ

舞台設備の紹介などを通じ、施設に関心を持っていただけるような事業を実施する。

5 市民ギャラリー事業

①〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～

コンサートホール専属オルガニストと、Kitara所有のポジティブ・オルガンによるコンサートを開催する。

期 日：令和7年4月19日(土)

会 場：第1展示室

②市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて、多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年10回開催予定

会 場：展示室

③市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域のまちづくり、交流に寄与している。

期 日：令和7年5月17日(土)

会 場：1階ロビー

④カルチャーナイト2025

札幌市全域で公共施設や文化施設などを夜間開放して市民が地域の文化を楽しむ「カルチャーナイト」に参加し、市民ギャラリーならではの趣向を凝らしたイベントを実施する。

期 日：令和7年7月25日(金)

会 場：動画共有サイトYouTube ほか

⑤市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸などの講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを実施し、子どもたちの参加を促進する。

期 日：陶芸体験教室 令和7年7月25日(金)、26日(土)

七宝体験教室 令和7年8月3日(日)

夏休みお絵かきワークショップ 令和7年8月16日(土)、17日(日)

冬休みお絵かきワークショップ 令和8年1月11日(日)

会 場：展示室

⑥市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを、家族連れや子どもの参加しやすい夏休みや冬休み、春休み期間に上映する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでのミニ上映会を開催する。

期 日：夏休み子ども映画会 令和7年8月2日(土)

春休み子ども映画会 令和8年3月

※ミニ上映会は令和7年12月19日(金)～21日(日)

会 場：展示室 ほか

⑦市民ギャラリーウインターコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。

期 日：令和7年12月6日(土)

会 場：第1展示室

⑧書っ！パフォーマンス

新規

展示室の広々とした空間を存分に活用し、高文連石狩支部書道専門部推薦の高校書道部員による流行の音楽にのせて大人数で大型作品を書き上げる迫力のパフォーマンスを観覧したのち、部員の指導による書初め体験等を実施し、書道への興味と理解をより深める機会を提供する。

期 日：令和8年1月

会 場：第1～3展示室

協 力：北海道高等学校文化連盟石狩支部

⑨高文連石狩支部書道展・書道体験

学校教育と各種芸術団体の将来に貢献する事業として開催するとともに、展覧会期間中に高校生による市民向けワークショップを行い、書道への興味と振興に寄与する。

期 日：令和7年8月8日(金)～10日(日)

会 場：全館

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑩札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術・書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和7年11月11日(火)～16日(日)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑪中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催予定。

期 日：調整中

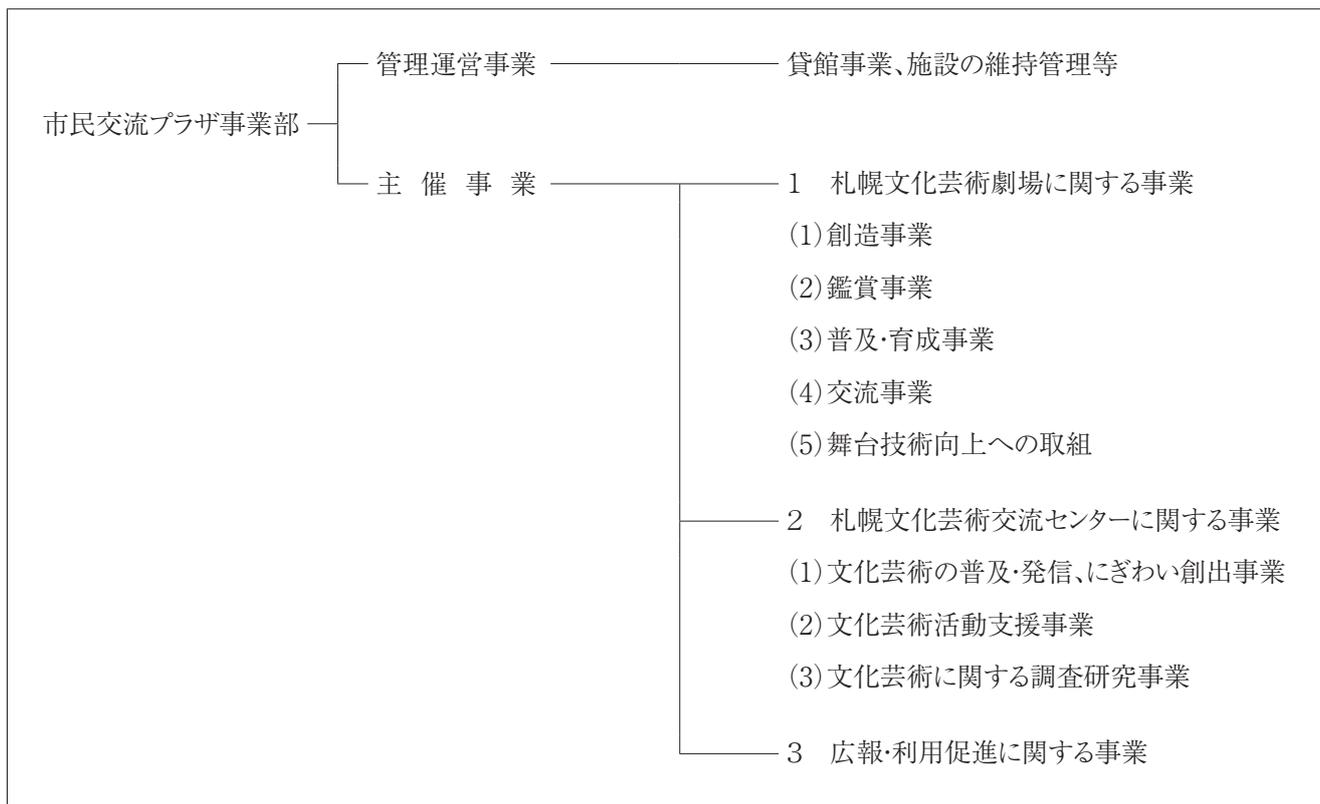
会 場：展示室

主 催：東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

IV. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和5年度実績	令和6年度見込	令和7年度目標	
利用 状 況	札幌文化芸術劇場	劇場 利用率	92.4%	85.1%	85.0%
		クリエイティブスタジオ 利用率	93.5%	91.2%	85.0%
		練習室等 利用率	85.9%	87.1%	80.0%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等) 利用率		87.9%	93.5%	80.0%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)		1,523,758人	1,645,000人	1,360,000人

【参考】

令和4年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：57.9% 小ホール(500席未満)：54.5%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和5年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

① hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」(全幕)再演

地元のバレエ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台としたバレエ作品を創造・発信するhitaruバレエプロジェクトの第1回公演として令和5年度に制作した「くるみ割り人形」を再演する。

期 日：令和8年2月28日(土)、3月1日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

演出振付：千田雅子

演 目：「くるみ割り人形」(全幕)

② hitaruオペラプロジェクト(準備)

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台とした新たなオペラ作品を創造・発信するhitaruオペラプロジェクトの第3回公演に向けた準備を行う。

期 日：通年

③ hitaruバレエプロジェクト(準備)

地元のバレエ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台としたバレエ作品を創造・発信するhitaruバレエプロジェクト2回目の新制作公演に向けた準備を行う。

期 日：通年

④ Creative Art Mix 2025 IMMERSIVE RHYTHM

新規

企画プロデュース、舞台技術等、劇場職員のスキルを結集して実施するhitaru creation事業の一環として企画。より作品の魅力を感じ、市民の創造性を高めることを目的に「イマーシブ(没入)」をテーマとし、市民参加型のパフォーマンス・アーツを新制作する。プラザフェスティバルでの公開パフォーマンス等、関連事業も開催。

期 日：令和8年3月14日(土)、15日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

脚本・演出・振付：鈴木明倫

出 演：鈴木明倫、Co.山田うん所属ダンサー、公募で選ばれた市民ダンサー

作編曲：小野健悟 ほか

(2) 鑑賞事業

① 大駱駝艦「クレイジーキャメル」

磨赤兒率いる舞踏カンパニー大駱駝艦を招へいする。ヴィヴァルディの「四季」に乗せて、金粉をまとった舞踏手たちが思春期の少年少女の恋心を描く「クレイジーキャメル」(北海道初演)を上演する。関連事業として、磨赤兒を講師に迎え、舞踏体験ワークショップを企画する他、写真展の開催を予定。

期 日：令和7年9月14日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

出 演：大駱駝艦

演 目：「クレイジーキャメル」

②東京バレエ団 札幌公演(仮称)

新規

市内中学生向け招待公演である「My First Ballet」事業の実施に合わせ、同日夜に一般向けの公演を開催。社会包摂に向けた取組の一環として、障がいのある方への鑑賞サポート及びニーズ調査等も実施する。

期 日：令和7年9月26日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

出 演：上野水香 ほか

演 目：「ドン・キホーテ」(抜粋)、「パド・ドゥ集」、「ボレロ」ほか

③新国立劇場バレエ団「シンデレラ」

北海道初の多面舞台を誇る当劇場から質の高いバレエ作品の鑑賞機会を提供するため、新国立劇場バレエ団「シンデレラ」(北海道初上演)を上演する。

期 日：令和7年10月4日(土)、5日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

振 付：フレデリック・アシュトン

管弦楽：札幌交響楽団

演 目：「シンデレラ」

④hitaruのひととき

市内中心部という優れた立地条件を活用するとともに、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲を多様なテーマ・キャストイングにより実施する公演事業。実演芸術に親しむ機会が少なかった市民にも気軽に鑑賞していただき、幅広い市民に劇場の魅力を知っていただくことを目的とする。

1)小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート

国内外で活躍するオペラ歌手小林沙羅と大西宇宙を迎え、オペラ、オペレッタやミュージカルなど人気の楽曲をトークとともに楽しんでいただくコンサート。関連事業として、声楽愛好家や若手歌手等を対象とした歌唱ワークショップを実施する。

期 日：令和7年6月22日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

出 演：小林沙羅(ソプラノ)、大西宇宙(バリトン)、河原忠之(ピアノ)

2) Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～

日本で唄い継がれてきた民謡をラテン、アフリカン、カリビアン等様々なワールドミュージックと融合させた独自のサウンドで人気を誇る民謡クルセイダーズを招へい。関連事業として、民謡の持つ魅力を体験できる「MINYOワークショップ」、開場時間を長く設定し、DJによる音楽とともに飲食を楽しめる「MINYOサロン」をホワイエにて実施する。

期 日：令和7年7月27日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

出 演：フレディ塚本(ボーカル)、田中克海(ギター)ほか

3) My First Ballet ～くるみ割り人形～

新規

hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」の全3公演のうち3月1日のマチネ公演について、ストーリー・キャラクター紹介を交えて初心者にもわかりやすくお届けする普及型公演を実施する。関連事業として、バックステージツアーを実施予定。

期 日：令和8年3月1日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

演出振付：千田雅子

出 演：hitaruバレエプロジェクトにアンダーキャストとして参加するダンサー

演 目：「くるみ割り人形」

⑤ ゆうめい「養生」

日本の演劇界を牽引する劇団のひとつであるゆうめいを招へいする。第68回岸田國士戯曲賞を受賞した経歴をもつ池田亮による「養生」(北海道初演)を上演。関連事業として、演出家や出演者によるアフタートーク、作品に関するスケッチなどの展示イベント、作品理解や鑑賞者同士の交流を目的とした劇評講座を実施する。

期 日：令和7年12月6日(土)、7日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

作・演出・美術：池田亮

出 演：本橋龍、黒澤多生、丙次

演 目：「養生」

⑥ 贅沢貧乏「わかろうとはおもっているけど」(共催)

山田由梨主宰の劇団、贅沢貧乏の代表作のひとつ「わかろうとはおもっているけど」を公益財団法人北海道文化財団との共催で上演する。

期 日：令和7年12月13日(土)、14日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

脚本・演出：山田由梨

演 目：「わかろうとはおもっているけど」

主 催：公益財団法人北海道文化財団

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑦ ミュージカル「レ・ミゼラブル」(共催)

昭和62年の日本初演以来、3,400回以上の上演を重ねる大ヒットミュージカル。19世紀初頭のフランスの動乱期を舞台に当時の社会情勢や民衆の生活を克明に描く。令和元年以来の札幌公演を全9日間、12公演上演する。

期 日：令和7年5月25日(日)～6月2日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑧ 第六回さっぽろ落語まつり(共催)

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第6回公演。東西人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaruと共済ホールの2会場で開催する。

期 日：令和7年6月6日(金)～8日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

協 力：オフィスまめかな

⑨ 大型ミュージカル公演(仮称)(共催)

東宝株式会社の製作する大型ミュージカル公演を株式会社道新文化事業社との共催により開催する。開催日程、公演回数については調整中。

期 日：令和7年12月

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑩2025 HTBジルベスターコンサート(共催)

平成9年にスタートした歴史あるコンサートの第28回公演。

期 日：令和7年12月31日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

(3)普及・育成事業

①小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート関連事業 歌唱ワークショップ

「小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート」関連事業として、声楽愛好家や若手歌手等を対象とした歌唱ワークショップを実施する。

期 日：令和7年6月21日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：小林沙羅(ソプラノ)、大西宇宙(バリトン)

②Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～関連事業 MINYOワークショップ

「Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～」関連事業として、民謡の持つ魅力を体験できるワークショップを実施する。

期 日：令和7年7月26日(土)

会 場：調整中

講 師：調整中

③hitaruダンス・ワークショップ for Lifetime

ライフワークとして実演芸術に親しみたいというニーズに応え、バレエと舞踏をワンコイン(500円)で気軽に体験できるワークショップを実施する。年齢制限を設けないクラスと20歳以上を対象としたクラスを設置し、ダンスに興味がある大人、親子連れなど、幅広い層の市民に向けて、文化芸術を生活の一部に取り入れる契機を提供する。

期 日：令和7年7月12日(土)、13日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：郷翠(バレエ)、髪立ツカサ(舞踏)

④hitaruバレエプロジェクト関連事業

公開講座 パリ・オペラ座バレエ団 ジョゼ・マルティネス氏を迎えて(仮称)

札幌芸術の森バレエセミナーとの共同事業として、同セミナーが講師として招へいするパリ・オペラ座バレエ団芸術監督ジョゼ・マルティネス氏を招き、バレエを愛する方々に向けた講座を開催する。

期 日：令和7年7月

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：ジョゼ・マルティネス

⑤札幌大谷大学アートプログラム(共催)

札幌大谷大学学長の千葉潤氏による、hitaru主催事業の見どころ・聴きどころをわかりやすく解説するレクチャー事業を開催する。

期 日：令和7年8月29日(金)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：千葉潤

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑥hitaruバレエプロジェクト関連事業 バレエ研修プログラム／公開講座

新規

hitaruバレエプロジェクト参加の市民ダンサーを中心に、なかなか専門的な研修を受ける機会の少ない音楽教育を実施する。舞踊の芸術の向上には動きと音楽の関係を深く知ることが重要であり、当事業は一般のダンサーや指導者も受講できるよう門戸を広げることで市民の創造性の向上に取り組む。なお、普及啓発を目的とする一般向け講演も実施する。

期 日：令和7年9月6日(土)、7日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：富田実里

⑦大駱駝艦「クレイジーキャメル」関連事業 舞踏ワークショップ

大駱駝艦「クレイジーキャメル」関連事業として、大駱駝艦主宰の磨赤兒を講師に迎え、舞踏体験ワークショップを実施する。

期 日：令和7年9月11日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

講 師：磨赤兒、田村一行、鉾久奈緒美(大駱駝艦舞踏手)

⑧My First Ballet ～ドン・キホーテ(抜粋)&ボレロ～

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学2年生を対象にした「青少年向けバレエ鑑賞事業」を親しみやすい名称に変え引き続き実施。国内のみならず世界的な評価を得てきた東京バレエ団による、解説付きプログラムを上演する。

期 日：令和7年9月26日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

出 演：東京バレエ団

演 目：「ドン・キホーテ」より抜粋、「ボレロ」(モーリス・ベジャール振付)

⑨hitaruオペラプロジェクト関連事業 オペラ研修プログラム(仮称)

新規

hitaruオペラプロジェクト次回公演に向けた地元歌手のスキルアップを目的とした人材育成事業。舞台経験の少ない地元在住の若手歌手を主な対象とし、舞台上での身体表現や所作、クラシックバレエの基礎について学ぶ2日間の研修を実施する。

期 日：令和7年11月9日(日)、10日(月)

会 場：クリエイティブスタジオ、ほか

講 師：栗國淳 ほか

⑩ゆうめい「養生」関連事業 hitaru劇評入門

令和7年12月6日、7日開催の「養生」公演の関連事業として、演劇ジャーナリスト徳永京子氏による特別レクチャーと、演出家丹治泰人氏による講座(劇評執筆、感想の共有等)を含む劇評入門講座を実施する。

期 日：令和7年11月30日(日)、12月7日(日)、8日(月)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：徳永京子、丹治泰人

(4) 交流事業

① Body&Soul Kids★Party ～がおがお！音獣ますかれーどの巻～(仮称)

hitaru creation事業の一環として、実演芸術による、ノンバーバル・多文化共生プログラムを実施。小学校低学年までの子どもを育てる子育て世代をメインターゲットに、親子で参加できる仮面舞踏会をテーマにした参加型音楽会を開催。在住外国人の子育て世代にも広報を実施し、多様な参加者がそれぞれの文化を越えて交流できるイベントを目指す。

期 日：令和7年8月6日(水)、7日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

共同企画・出演：西野留以(ダンサー)、酒井颯太(ドラム)

② プラザフェスティバル

様々な客層が足を運びやすい環境の提供と多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施する。新国立劇場バレエ団「シンデレラ」公演のほか、モリヒコとも連携し、全館を挙げて市民を迎えるプログラムを実施する。

期 日：令和7年10月上旬

会 場：館内各所

(5) 舞台技術向上への取組

① 第6回hitaru舞台技術セミナー

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上や知識・経験の共有を目的に広く参加を呼びかけ、舞台技術をテーマとしたセミナーを開催する。

期 日：令和8年1月26日(月)、27日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

② 技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行う。

期 日：通年

会 場：札幌市内及び道内各市町村

③ 学生向けhitaru施設見学会

舞台技術を専攻する市内の専門学生・大学生にhitaruの施設内部を詳しく紹介し、劇場に関する知識や興味を高めてもらうとともに、劇場で働くことをより身近に感じてもらうことで、将来hitaruで技術者として働く若い人材を確保する。

期 日：令和7年4月22日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

①SCARTSメディアアーツシリーズ

ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野加盟都市の活動の充実に資する事業として、今日のアートと密接に関わる科学やテクノロジーを切り口に、多様な表現や創造的活動への関心を喚起することを目指す。

1) SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト

北海道大学CoSTEPや札幌市教育委員会等と連携し、学校教育での「探究学習」との関わりも視野に入れて、研究者やアーティストの専門知にふれ、思考を深めることを重視したプログラムを設計。招へいアーティストが地域でのリサーチを行い、高校・大学生向けのワークショップや交流プログラムを実施するとともに、その成果発表を行う。

期 日：調整中

会 場：SCARTSスタジオ ほか

②SCARTS連携事業

これまで市内各所で行われてきた、SCARTSにはない他分野（経済産業・福祉・教育など）における様々な取り組みや、連携協定締結先、財団内他事業部、市民交流プラザ内他課などと連携して事業を行い、より効果的な市民への普及を図ることを目的とする。

1) 大学連携コンサート

次世代を担う地域の若手音楽家に発表や公演制作の体験機会を提供し、札幌市民が気軽に文化芸術にふれる機会を創出することを目的に、財団が連携協定を結ぶ2つの大学と連携してコンサートを実施する。

ア 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校

期 日：令和7年8月19日(火)、20日(水)

会 場：SCARTSコート

出 演：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科音楽文化専攻 在校生または卒業生

イ 大学連携コンサート 札幌大谷大学

期 日：令和7年10月25日(土)

会 場：SCARTSコート

出 演：札幌大谷大学 芸術学部音楽学科 在校生または卒業生

2) SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル

札幌市の文化芸術の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催で、札幌を代表する作家の絵画や造形美術、書、陶芸、工芸作品などを展示。

期 日：【展示】令和7年8月8日(金)～10日(日)

【こどもアールブリュット】令和7年8月15日(金)～17日(日)

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

3) NoMaps2025

札幌・北海道を舞台に、クリエイティブな発想や技術で次の社会・未来を創ろうとする人たちのための交流の場として、カンファレンス・展示・イベント・交流・実証実験などさまざまな取り組みを行う。

期 日：令和7年9月10日(水)～14日(日)

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：NoMaps実行委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

4) さっぽろアートステージ2025「キッズアートフェス」

子どもたちの創造性を育むことを目的に、アーティストと子どもたちがコラボレーションし、ワークショップ等を通して展示を行う。

期 日：令和7年11月

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

5) 能藤玲子創作舞踊公演

舞踊家・能藤玲子(1931-)による新作の創作舞踊公演を行う。砂澤ビッキ(1931-1989)の代表作《神の舌》(1980年)を舞台美術の中核とし、北方の美術+舞踊の新たな表現を探る。なお、本事業は同作品を所蔵する札幌芸術の森美術館との連携事業として行う。

期 日：令和8年1月22日(木)～1月24日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

6) 彫美連続講座(仮)

彫刻の見方、楽しみ方を学び、芸術鑑賞の幅を広げる連続公演を、札幌彫刻美術館との連携事業として実施する。

期 日：令和7年5月13日(火)、8月6日(水)、令和8年3月21日(土)

会 場：SCARTSコート、SCARTSスタジオ

③ SCARTSパブリックリレーションズ

SCARTSを身近な存在として認知してもらうことを目指し、ウェブやSNSなどの様々な媒体を活用して情報発信を行っていく。西2丁目地下歩道における映像制作プロジェクトについては令和4年度までに制作した6作品の上映を継続するとともに、市民交流プラザやSCARTSのウェルカムゲートとしての機能を高める展開を検討する。また、プラザフェスティバルにおけるにぎわい創出やアートセンターに対する理解促進のための事業を企画していく。

1) 西2丁目地下歩道映像上映プロジェクト

文化芸術情報発信の一環として、西2丁目地下歩道にて平成30年度～令和4年度まで毎年アーティストに委嘱して制作してきた6つの映像作品を、引き続き上映する。あわせて機材更新の必要性和、市民交流プラザのウェルカムゲートとしての機能強化を視野に入れ、プロジェクトのリニューアルに向けての調査を実施していく。

期 日：通年

会 場：西2丁目地下歩道

上映作品：スタジオロッカ『UNDER UNIVERSE』、大木裕之『トシ シ』、野口里佳『虫・木の葉・鳥の声』、アピチャップン・ウィーラセタクン『憧れの地』、小田香『Underground』、空族『イラ・フォルモサ』

2) プラザフェスティバル(再掲)

施設のにぎわい創出の一環として、10月の市民交流プラザの開館を記念し、全館イベントを実施する。センター事業課ではマルシェやアートセンターへの理解を深めるためのシンポジウム等を開催予定。

(2)文化芸術活動支援事業

①SCARTSサポート事業

インフォメーションカウンターや相談サービス、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業、助成金交付事業など、文化芸術活動を行う方々を支える事業を引き続き実施する。

1)SCARTS相談サービス

市内文化芸術イベントや助成金等の情報提供を通じて、アーティストや文化芸術団体及びその活動を支援する。併せて、相談窓口を開設し、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせに対する情報提供やアドバイスも行う。また、今後のSCARTSの活動に資する先進的な他都市の事例や情報などを調査研究し、その成果を蓄積・発信していく。

期 日：通年

2)SCARTSラーニングプログラム

市民の文化芸術活動に役立つ実践的なレクチャー、相談会に加え、次代を担う若年層を対象とし、アーティストや文化芸術団体、文化施設や行政職員、文化芸術分野での仕事への従事を考えている若年層等を対象としたレクチャーやワークショップ、ディスカッション等を実施。財団内他事業部や市民交流プラザ内他課等との連携によるプログラム構築や、他分野や他団体の協力・連携をもって講師の選定を行う等、アーティストだけではなく、文化芸術活動を支える役割を含めた文化芸術活動の担い手となる人材の育成を目指す。

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート ほか

3)企画公募事業

札幌の文化芸術活動を支え、創造的なまちづくりに資することを目的に、公募により選定されたアーティストや団体による企画をSCARTSとの共同で実施する。SCARTS施設の多様な活用方法を示すとともに、施設利用料の負担や技術面・広報面等での支援を行うことを通して、札幌市における文化芸術活動の質を高めしていくことを目指す。

ア Sumitto Art 一望月澄人回顧展－

2015年に他界した札幌市立大学デザイン学部教授望月澄人の回顧展。本の展示と原画、パネル、半オブジェの立体作品、ブログの文章、CG映像作品などを通して望月澄人の残した芸術を多角的に表現する。

期 日：令和7年5月31日(土)～6月8日(日)

会 場：SCARTSコート

主 催：横須賀令子

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

イ 石垣絢子個展シリーズ 「言葉と音楽」Vol.Ⅷ BOLERO～書×ヴァイオリン×ピアノ～

2025年で10周年を迎える本シリーズに、書家の小杉卓を迎え“文字としての言葉”と音楽の表現を探る。書のライブパフォーマンスを想定して作曲した作品や、言葉を持たないが人の声のように情感豊かに奏でるヴァイオリンなど、観客それぞれの想像力で楽しめる作品を展開する。

期 日：令和7年7月20日(日)

会 場：SCARTSコート

主 催：「言葉と音楽」石垣絢子

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

ウ 宮本一行個展「雪面の歩行 Walk on the Snow Field」

北海道中央部に位置する大雪山系を「一定の歩行速度で歩き続けた経験」から着想を得て制作したインスタレーション・アート。北海道が有する豊かな自然環境を表層的に捉えるマクロな視点だけでなく、身体感覚を用いた対話＝ミクロな視点の一つのあり方を提示する。

期 日：令和7年8月28日(木)～9月7日(日)

会 場：SCARTSコート

主 催：宮本一行

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

エ 音の建築彫刻 ―交差するBachとアンビエント―

超指向性スピーカーとラウドスピーカーを複数台配置して、見えない音の線、面などによる音の彫刻(サウンドインスタレーション)を展示する。プロジェクターからの図形、記号、文字、数字、グラフ等のモーショングラフィックスや実写映像もシンクロさせ、会場内を音の建築彫刻作品と化す。

期 日：令和7年12月20日(土)～21日(日)

会 場：SCARTSコート

主 催：CAI現代芸術研究所

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

4)札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

令和3年度から開始した「札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業」を継続して実施。令和7年度に実施される採択活動に対する助成金の交付のほか、採択活動への視察を行うとともに、交流会、講評・フィードバック、活動報告会等も実施する。また、令和8年度実施活動に対する募集・選考・採択を行う。

期 日：通年

(3)文化芸術に関する調査研究事業

文化芸術活動を支援し、発展させていく上で欠かせない国や他都市の動向や先進的な事例など、文化芸術活動に関する基礎的な調査や研究、情報収集・交換を行うとともに、その成果を蓄積・発信していくことによって、文化芸術活動発展への寄与につなげる。

①文化芸術振興のための調査研究の実施

これまでの各種調査結果の事業への還元、市民への公開等の実績をふまえ、文化芸術活動に携わる市民が、自らの活動を充実させ、札幌市の文化芸術の裾野が広がるような支援に繋がる情報の収集や調査研究のテーマを選定し、調査手法を検討のうえ実施する。また、アートセンターの役割や機能を、他都市のアートセンター等文化施設で働くスタッフや研究者とともに考え、全国にある様々な施設とネットワークを構築していくためのオープンミーティングも継続して開催する。

②主催事業の記録及び公開

これまでSCARTSにおいて実施してきた自主事業を中心に記録・保存し、次世代に対してこれまでの取組の足跡を伝えるとともに、これらのデータが広く活用される資料となることを目指し、どのような方でもアクセスしやすく、活用しやすい形で整理・保存し、公開する。

3 広報・利用促進に関する事業

(1) 広報

① 情報誌作成と事業広報との連携強化

市民交流プラザの取り組みを広く周知するため、情報誌「wave times+ (ウェーブタイムスプラス)」（冊子版、WEBマガジン版）を発行する。劇場事業課、センター事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザを一体的に広報する。また、財団施設間連携の一環として、当財団が管理する他の5施設のイベントをピックアップして紹介する。

期 日： 通年

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページ、SNSなどを通じて、即時性のあるトピック、情報誌やチラシだけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報の発信を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行う。ホームページでは英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語での表示対応、ウェブアクセシビリティに配慮したページ作りの他、AIチャットボットによる質問応答サービスを実施することで、利用者からの問い合わせに24時間対応する。

期 日： 通年

③ 市民交流プラザのブランディング

市民や利用者に対し、市民交流プラザの魅力やアクセス方法の認知度を高めるために、オリジナルグッズの作成や屋外広告掲出、イベント協賛などを行い周知する。また、観光分野との連携の一環として、札幌及び札幌近郊のアートスポットや観光スポットを紹介する取り組みを行う。

期 日： 通年

④ その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽMAP」や「ホテルグルメ特集」などの広報物を作成する。

期 日： 通年

(2) 利用促進

① 施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、ホームページで施設の空き状況などの施設利用に関する情報を提供する。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を目指す。

期 日： 通年

② 会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、継続会員の確保と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催公演等の先行発売をはじめ、会員限定イベントなどの実施、近隣ホテルや飲食店での優待など、さらなる充実を図り、安定的な制度運営を行う。

期 日： 通年

③ 協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続確保と、新規スポンサーの獲得に努める。また、協賛広告枠を活用することで市民交流プラザの事業を広く周知する。

期 日： 通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用状況	芸術の森		令和5年度実績	令和6年度見込	令和7年度目標
	駐車場	利用台数	87,731台	53,000台	67,000台

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。

- ・施設内レストランや喫茶の経営
(芸術の森、コンサートホール、教育文化会館、市民ギャラリー、市民交流プラザ)
来場者の憩いの場として、施設内喫茶およびレストランの委託経営を行う。
(教育文化会館においては、令和4年2月に閉店)
- ・グッズショップの運営
(芸術の森、コンサートホール、教育文化会館、市民交流プラザ)
来館の記念になるよう、音楽や古典芸能をはじめとする芸術関連グッズを購入できる売店を運営する。
- ・自動販売機の設置経営
(芸術の森、コンサートホール、教育文化会館、市民ギャラリー、彫刻美術館、市民交流プラザ) 来場者の利便性のため、施設内の随所に自動販売機を設置運営する。

